

取扱いガイド **簡易版**

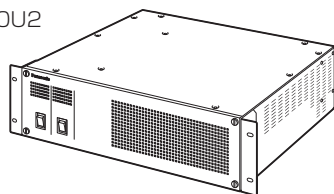
(施工説明書付き)

2ME ライブスイッチャー

AV-HS6000 シリーズ

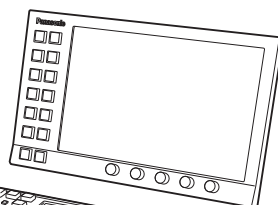
メインフレーム

品番 AV-HS60U1/AV-HS60U2



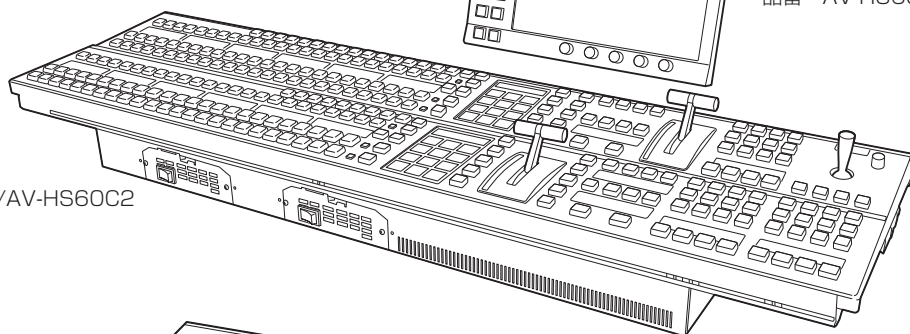
メニューパネル

品番 AV-HS60C3G



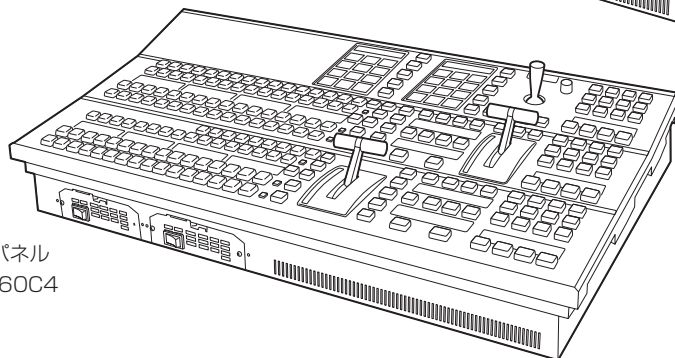
コントロールパネル

品番 AV-HS60C1/AV-HS60C2



コントロールパネル

品番 AV-HS60C4



**簡易版
取扱いガイド**

本書は、取扱いガイドより一部の内容を抜粋したものです。

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱いガイド (PDF) を参照してください。

■ 設置の際は「設置 (設置業者様向け) (9ページ)」、「接続 (設置業者様向け) (11ページ) を必ずお読みください。

Panasonic

本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記の Web サイトをご覧ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows® 7 および Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe® および Reader® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Primatte® は、株式会社 IMAGICA デジックスの登録商標です。
- Primatte® の著作権は、株式会社 IMAGICA デジックスが保有しています。
- Primatte® の特許は、株式会社 IMAGICA デジックスが保有しています。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

本書の見かた

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64 ビット版を Windows 7 と表記しています。
- Windows® Internet Explorer® 8.0 版、Windows® Internet Explorer® 9.0 版、Windows® Internet Explorer® 11.0 版を Internet Explorer と表記しています。
- メニューパネル品番の AV-HS60C3G を「AV-HS60C3」と記載しています。
- 別売品のストレージモジュール品番の AV-HS60D1G を「AV-HS60D1」と記載しています。
- 別売品のクロマキーソフトウェア品番の AV-SFU60G を「AV-SFU60」と記載しています。
- SD メモリーカードと SDHC メモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- パーソナルコンピューターを「コンピューター」と記載しています。

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

■ 表記について

- [] の語句はメニューパネル AV-HS60C3 や、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のマルチセレクトメニューパネル、素材名表示パネル、ステータス表示部分などに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (00 ページ) のように示しています。

もくじ

はじめに	4
特長	5
AV-HS6000 シリーズの構成	6
AV-HS6000 シリーズ構成一覧	6
AV-HS6000 シリーズ付属品	6
必要なコンピューター的环境	7
使用上のお願い	8
設置 (設置業者様向け)	9
メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の設置	9
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の設置	10
メニューパネル AV-HS60C3 の設置	10
ストレージモジュール AV-HS60D1 (SSD) の取り付け	10
クロマキーソフトウェア AV-SFU60 のインストール	10
接続 (設置業者様向け)	11
映像系統の接続	11
制御系統の接続	12
電源を入れる / 切る	15
電源を入れる	15
電源を切る	16
メニューの基本操作	17
メニュー構成と操作	17
数値入力項目の操作	18
文字入力項目の操作	19
カラー設定メニューの操作	20
その他のボタン	21
マルチセレクトパネル部の基本操作	22
バックグラウンドワイププリセットメニュー	22
ショットメモリーメニュー	23
イベントメモリーメニュー	24
ビデオメモリーメニュー	25
プラグインメニュー	26
メニューデリゲーション機能	27
メニューデリゲーション機能の設定	27
メニューデリゲーション機能一覧	27
各種設定	29
ネットワークの設定	29
信号フォーマットの設定	31
同期信号の設定	31
入力信号の設定	31
ボタンの設定	32
出力信号の設定	32
マルチビューディスプレイの設定	32
タリーの設定	32
日付と時刻の設定	33
外形寸法図	34
メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の外形寸法図	34
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2 の外形寸法図	35
コントロールパネル AV-HS60C4 の外形寸法図	36
メニューパネル AV-HS60C3 の外形寸法図	37
定格	38
メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2	38
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2	41
コントロールパネル AV-HS60C4	42
メニューパネル AV-HS60C3	43
ストレージモジュール	43

はじめに

■ 概要

ライブスイッチャーAV-HS6000 は、視認性と操作性に優れた新設計 UI グラフィカルコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 を採用、正確なスイッチングをサポートします。

また、3U サイズのコンパクト設計ながら、SDI×32 入力/DVI×2 入力、SDI×16 出力の豊富な入出力を装備し、システム性に優れています。さらに即応性が求められながらもクリエイティブな映像演出が欠かせないシーンでも、多彩なトランジション効果を可能にする DVE を ME ごとに 4 系統装備することで応えました。

■ 留意点について

- ご使用の前に、必ず動作の確認を行ってください。
- 本機、およびメモリーカードの使用、万が一これらの不具合により映像が表示、または録画されなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本機の不正確操作
- 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機と接続する機器は、同一セグメントでの運用を推奨します。セグメントが異なる機器との接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が発生する可能性があります。運用開始前に本機と接続対象機器との接続確認を十分に行ってください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。

■ システムバージョンの違いについて

本書は、システムバージョンが 4.00-00-0.00 以上のモデルの機能を記載しています。システムバージョンが 4.00-00-0.00 未満のモデルでは、一部の機能は操作できません。

本機のシステムバージョンは、トップメニューの〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Status] タブ → [System Version] コラムの [System Version] で確認できます。

最新情報は、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/> (日本語のみ)

<https://pro-av.panasonic.net/> (英語のみ)

■ スイッチャーモードについて

本機には、Standard モードと 3G モード、4K モードの 3 つの動作モードがあります。各モードでは、選択できるビデオフォーマットが異なります。

- Standard モードでは HD フォーマットと SD フォーマットが選択できます。
 - HD フォーマット：[1080/59.94i]、[1080/50i]、[1080/29.97PsF]、[1080/25PsF]、[1080/24PsF]、[1080/23.98PsF]、[720/59.94p]、[720/50p]
 - SD フォーマット：[480/59.94i]、[576/50i]
- 3G モードでは、次のフォーマットが選択できます。
 - [1080/59.94p]、[1080/50p]
- 4K モードでは、次のフォーマットが選択できます。
 - [2160/59.94p]、[2160/50p]

本書は、特に記載がない限り Standard モードの動作を説明しています。3G モードや 4K モードの動作について、詳しくは、取扱いガイド(PDF)の「各モードの機能の違い」を参照してください。

特長

■ グラフィカルコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4

- マルチセレクトパネル部：ME ごとにマルチセレクトパネル部を配置、ワイプパターンやショットメモリー、イベントメモリーなどの各種機能の呼び出しが迅速にできます。
- クリック感付カラー液晶スイッチ：マルチセレクトパネル部には押下を実感できるスイッチスタイルを採用、確実な運用をサポートします。
- クロスポイントボタン：クロスポイントボタンにはグルーピングが可能なマルチカラーライトを採用。
- 素材名表示パネル：ME ごとのクロスポイントボタンの上にグラフィック表示も可能なモノクロ素材名表示パネルを配置。

■ 34 入力標準搭載の豊富な入出力

- SDI×32 入力 /DVI×2 入力、SDI×16 出力を装備。
- 全入出力にフレームシンクロナイザーを内蔵。
- 入力 8 系統、出力 4 系統にカラーコレクター搭載。
- 入力 4 系統にアップコンバーター、出力 2 系統にダウンコンバーター搭載。

■ 多彩なトランジションと充実のキーヤー

- ME ごとにバックグラウンド、キーに対応する DVE4 系統、DVE (2D) 2 系統を搭載。
 - AUX1 バス～AUX4 バスに MIX トランジションを搭載。
 - Primatte®* アルゴリズムによるリアルタイムの高品位クロマキーを搭載。標準で 1 チャンネル /ME、4 チャンネル /ME まで増設可能。
 - PinP が可能なキーヤーを ME ごとに 4 チャンネル、合計 8 チャンネルを装備。
 - ダウンストリームキーヤーを 4 チャンネル搭載。
 - アップストリームキーヤーを 4 チャンネル搭載。
- * Primatte® は株式会社 IMAGICA デジックスの登録商標です。Primatte® の著作権は株式会社 IMAGICA デジックスが保有しています。Primatte® の特許は株式会社 IMAGICA デジックスが保有しています。

■ マルチビューアー出力

- 独立した 4 系統のマルチビューアーを搭載。
- 1 系統のマルチビューアーには最大 16 個の映像素材を表示可能。
- 素材名、タリー、オーディオレベルメーター、セーフティーマーカーの表示が可能。

■ ネットワーク機能

- Web サーバー機能：メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に接続したコンピューターの Web ブラウザーから、メニュー操作が行えます。

■ 安心と信頼の二重化運用システム

- メインフレーム AV-HS60U2 とコントロールパネル AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源を二重化。(シングル電源モデルもあります)
- IP 接続によりパネル 2 台を追加しての運用が可能。

■ 運用性を高める豊富な機能

- ショットメモリー、イベントメモリー、マクロメモリーなど定型効果の登録、呼び出しが可能。
- ビデオクリップ、静止画メモリーを各 4ch 登録でき、容易に CG ワイプに利用が可能。
- 10.1 型タッチパネル式メニューパネル AV-HS60C3 (オプション) または、PC モニターと USB マウスによるスイッチャーの設定が可能。
- プラグインソフトウェアにより、外部機器のコントロールを運用形態にあわせて拡張可能。

AV-HS6000 シリーズの構成

AV-HS6000 シリーズ構成一覧

シリーズ名称		AV-HS6000 シリーズ
メインフレーム	シングル電源モデル	AV-HS60U1
	リダundant電源モデル	AV-HS60U2
コントロールパネル (24XPT)	シングル電源モデル	AV-HS60C1
	リダundant電源モデル	AV-HS60C2
コントロールパネル (16XPT)	リダundant電源モデル	AV-HS60C4
メニューパネル		AV-HS60C3
ストレージモジュール		AV-HS60D1
クロマキーソフトウェア		AV-SFU60

AV-HS6000 シリーズ付属品

■ メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2

- AC コード
 - AV-HS60U1 : 1 本、AV-HS60U2 : 2 本
- ラックマウント背面サポート金具
- ラックマウント背面サポート金具のねじ 8 本
- AV-HS6000 シリーズ取扱いガイド (簡易版)
- AV-HS60U1/AV-HS60U2 取扱説明書 (簡易版)

■ コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2

- AC コード
 - AV-HS60C1 : 1 本、AV-HS60C2 : 2 本
- LAN ケーブル 1 本 (メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 と接続)
- スイッチブランクキャップ (大) 24 個
- スイッチブランクキャップ (小) 12 個
- AV-HS60C1/AV-HS60C2 取扱説明書

■ コントロールパネル AV-HS60C4

- AC コード
 - AV-HS60C4 : 2 本
- LAN ケーブル 1 本 (メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 と接続)
- スイッチブランクキャップ (大) 16 個
- スイッチブランクキャップ (小) 8 個
- AV-HS60C4 取扱説明書 (簡易版)

■ メニューパネル AV-HS60C3

- コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 接続用ケーブル (フェライトコア付き) 1 本
- コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 マウント用金具
- コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 マウント用金具のねじ 6 本
- AV-HS60C3 取扱説明書 (簡易版)

■ ストレージモジュール (AV-HS60D1)

- AV-HS60D1 取付ガイド

■ クロマキーソフトウェア (AV-SFU60)

- はじめにお読みください
- ソフトウェア使用許諾書
- キーコードが収められた袋

NOTE

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

必要なコンピューター環境

NOTE

- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に接続するホストコンピューターは、次の条件を満たすものをご使用ください。

CPU	Intel® Core™ 2 DUO 2.4 GHz 以上推奨
メモリー	2 GB 以上推奨
ネットワーク機能	100Base-TX
画像表示機能	解像度： 1024x768 ピクセル以上 発色： True Color (24 bit 以上)
対応 OS	Microsoft Windows 7： Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 11.0 ● Internet Explorer 8.0 では使用できません。
ハードディスク	50 MB 以上の空き容量
その他	Adobe® Reader® (取扱いガイドを閲覧するため)

使用上のお願い

■ 取り扱いには注意を

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。また、フェーダーレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

■ 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

■ 湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

■ お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いたあと、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ・ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

■ 制作時のご注意

本機の映像切り替え機能や映像効果機能を用いると、細かく点滅する映像や急激に変化する映像を制作できます。このような映像は、視聴者の身体へ影響を与える可能性がありますので、制作時には、特にご留意ください。

■ 内蔵ディスプレイについて

素材名表示パネルの有機 EL パネル、マルチセレクトメニューパネルとメニューパネル AV-HS60C3 の液晶パネルは長時間同じ画像を映したままにしておくと、残像（焼き付き）が発生します。スクリーンセーバーの設定を行って使用してください。

液晶モニターのドットについては、有効画素の 99.99% 以上の高精度管理をしていますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。

温度差が激しい所では、液晶パネルに露がつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布で拭いてください。

本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

■ タッチパネルについて

メニューパネル AV-HS60C3 のタッチパネルは指で操作してください。ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

■ 消耗品について

● 冷却ファン：

冷却ファンは消耗品です。

約 5 年（1 日に 15 時間使用時）を目安に交換してください。

● 電源ユニット：

電源ユニットは消耗品です。

約 5 年（1 日に 15 時間使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換時期は、使用条件により異なります。

消耗品を交換する場合は、必ず、販売店に依頼してください。

設置（設置業者様向け）

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の設置

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。メインフレーム AV-HS60U1 にリダンダント電源を増設する場合は、販売店にご相談ください。

■ 電源の接続について

- 後面の〈SIGNAL GND〉端子は、システムのグラウンドに接続してください。
- メインフレーム AV-HS60U2 は、1 系電源と 2 系電源の両方を動作させて使用してください。
1 系電源と 2 系電源に AC 電源の入力がない場合や電源スイッチが〈OFF〉の場合、アラームが表示されます。
(メインフレーム AV-HS60U1 は 1 系電源のみのため、アラームは表示されません)

■ 取り扱いはいないに

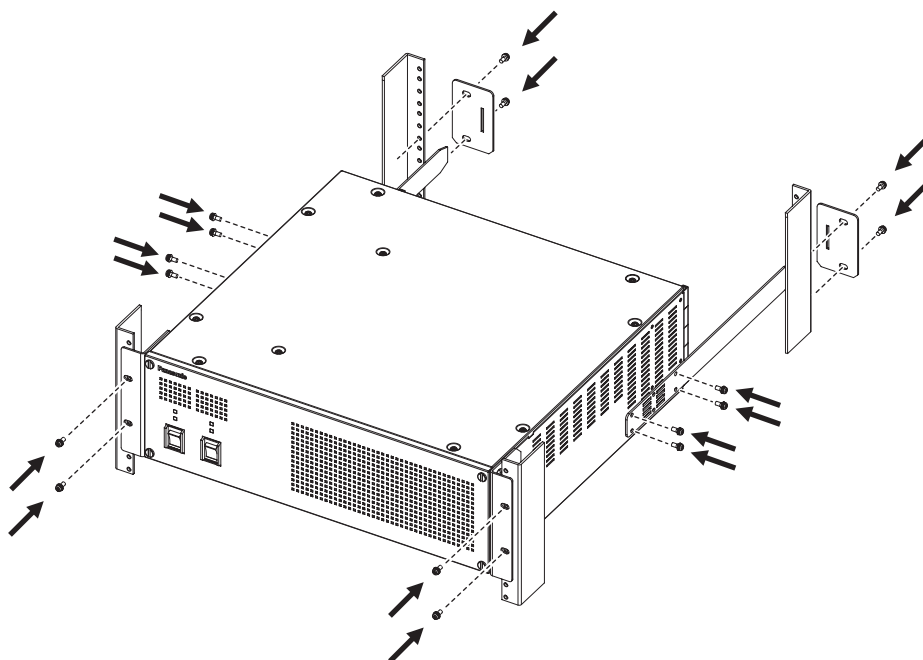
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりすると、故障や事故の原因になります。

■ 内部に異物を入れないでください

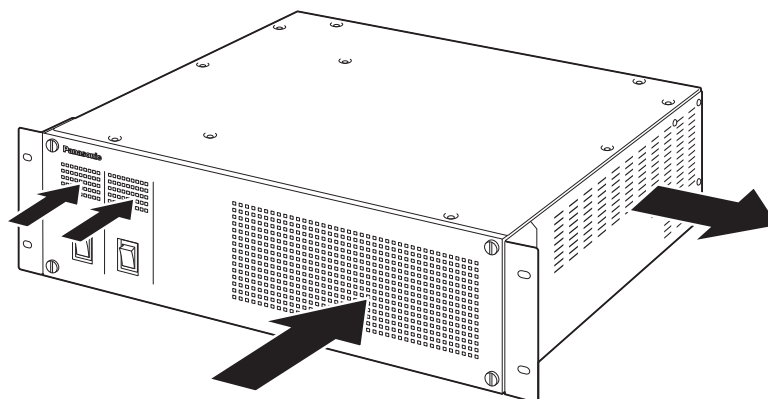
- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

■ 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- EIA 規格相当品の 19 インチ標準ラック（奥行寸法：600 mm 以上）に確実に取り付けで使用してください。



- 収納するラックに適合したねじで、確実に固定してください。
- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の後部を支えるラックmount背面サポート金具（付属品）を必ず取り付けてください。
(付属の金具を取り付けることができない場合は、ラックに適合するサポート金具をご用意ください)
- フロントカバー前面と側面の通気孔周辺は、十分な空間を確保してください。



- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 直射日光が当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の設置

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。コントロールパネル AV-HS60C1 にリダンダント電源を増設する場合は、販売店にご相談ください。

■ 電源の接続について

- 後面の〈SIGNAL GND〉端子は、システムのグラウンドに接続してください。
- コントロールパネル AV-HS60C2/AV-HS60C4 は、1 系電源と 2 系電源の両方を動作させて使用してください。
1 系電源と 2 系電源に AC 電源の入力がない場合や電源スイッチが〈OFF〉の場合、アラームが表示されます。
(コントロールパネル AV-HS60C1 は 1 系電源のみのため、アラームは表示されません)

■ 取り扱いはいないに

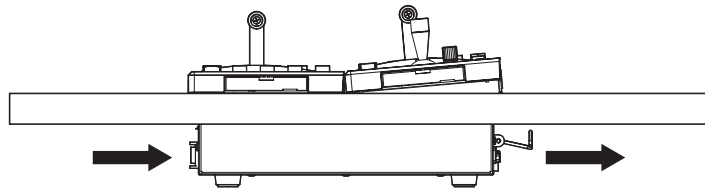
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりすると、故障や事故の原因になります。

■ 内部に異物を入れないでください

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

■ 設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 電源ユニット前面とコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 後面の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。



- 直射日光が当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

メニューパネル AV-HS60C3 の設置

メニューパネル AV-HS60C3 後面の 4 つの取付穴 (M4 ねじ x4、75 mm ピッチ) を用いて取り付けてください。
詳しくは「メニューパネル AV-HS60C3 の外形寸法図」(37 ページ) を参照してください。

ストレージモジュール AV-HS60D1 (SSD) の取り付け

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 内部に取り付けると Still、Clip のレジスタメモリー、プロジェクトデータをメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 内部に保存できます。

詳しくは、ストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) の「取付ガイド」を参照してください。

NOTE

- 取り付け、および取り外し作業は、必ず販売店に依頼してください。
- 取り付け、および取り外し作業は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
- ストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) に触れる前に、接地した金属に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。静電気防止のリストストラップを着けると安全です。帯電している状態でオプションボードに触れると、故障の原因となります。
- ストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) を落としたり、強い衝撃や振動を与えたりして破損しないようにしてください。
- ストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) を取り付けるときや取り外すときに、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の縁や金属部などで指が滑らないようにご注意ください。

クロマキーソフトウェア AV-SFU60 のインストール

クロマキーソフトウェア AV-SFU60 (別売品) に添付されたキーコードを元にアクティベーション作業を行うと、KEY2、KEY3、KEY4 のクロマキー機能を追加できます。1 パッケージは ME1 および ME2 の 1 つのキー分なので、すべてのキーにクロマキー機能を追加する場合は 3 パッケージが必要です。

詳しくは、取扱いガイド (PDF) の「クロマキー機能の増設」を参照してください。

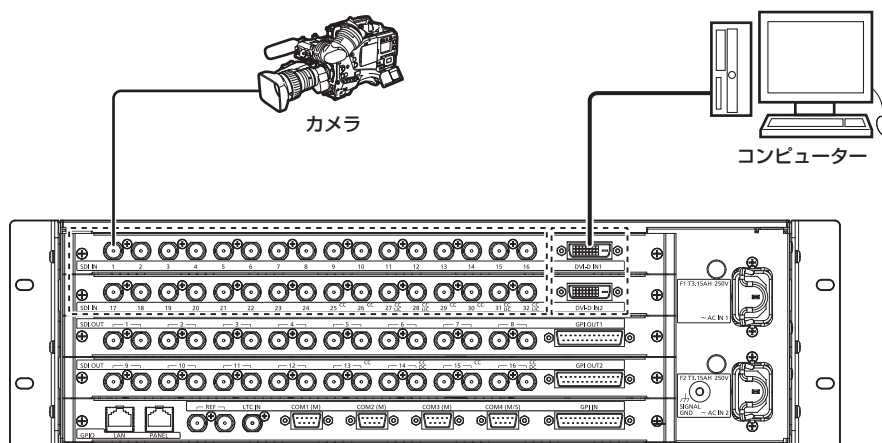
接続（設置業者様向け）

映像システムの接続

〈SDI IN 1〉～〈SDI IN 32〉 / 〈DVI-D IN1〉 / 〈DVI-D IN2〉 端子の場合

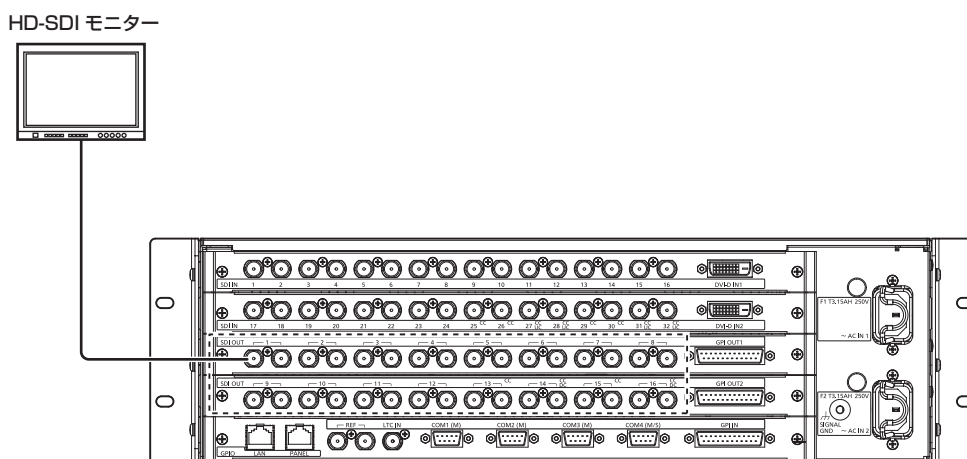
カメラ、VTR など外部素材を接続します。

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の SDI 入力にはフレームシンクロナイザー機能があるため、非同期の SDI 信号を入力できます。映像遅延を少なくするには、フレームシンクロナイザー機能は [Off] にして、本機および入力機器に同期信号を与え、同期システムを構築してください。



〈SDI OUT 1〉～〈SDI OUT 16〉 端子の場合

モニターなど外部機器へ、スイッチャーの出力信号を接続します。

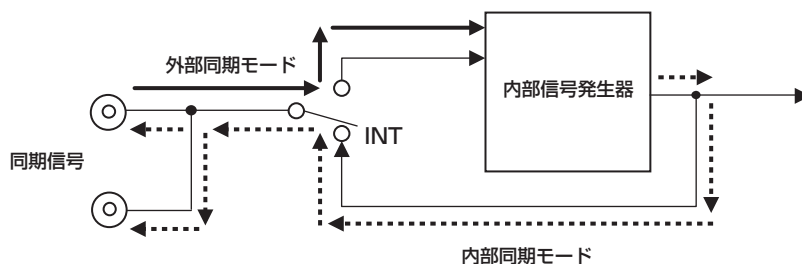


〈REF〉 端子の場合

同期信号発生器からのシステムの同期信号を接続します。

外部同期モード時は、ループスルー出力します。ループスルー出力を使用しない場合は、75 Ω で終端してください。

内部同期モード時は、2 つの端子からブラックバースト信号を出力します。



制御システムの接続

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 に、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 やメニュー操作コンピューター、外部機器を接続します。

ここでは、AV-HS60C1/AV-HS60C2 のイラストを使ってメインコントロールパネル、サブコントロールパネルの接続について説明します。AV-HS60C4 でも同様に接続できます。

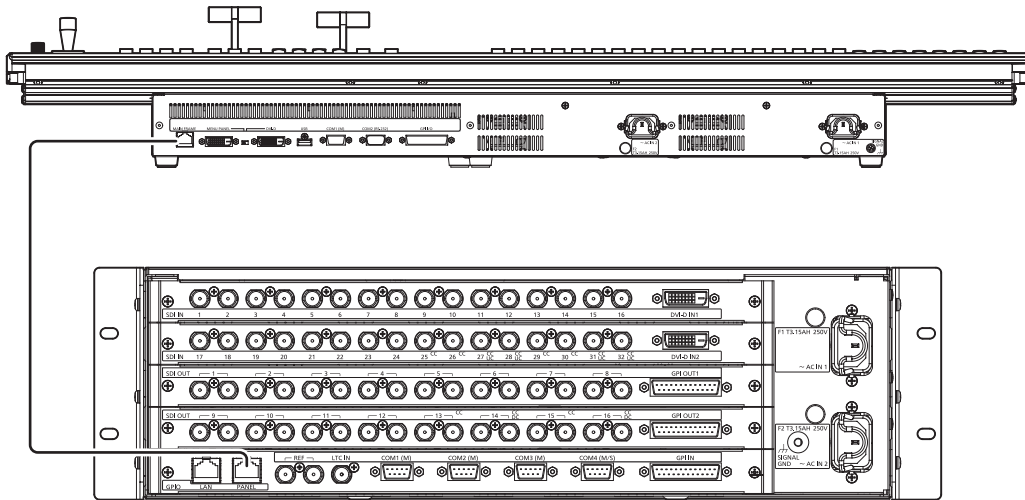
NOTE

- ・ 次の場合はケーブルをご用意ください。
 - メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子にメニュー操作コンピューターや外部機器を接続する場合
 - 付属の LAN ケーブル（CAT5E）の長さ（10 m）では届かない場所に設置する場合
 - 推奨ケーブル：LAN ケーブル（CAT5E）、ストレートケーブルまたはクロスケーブル、STP（Shielded Twisted Pair）、最大 100 m

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 とコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の接続

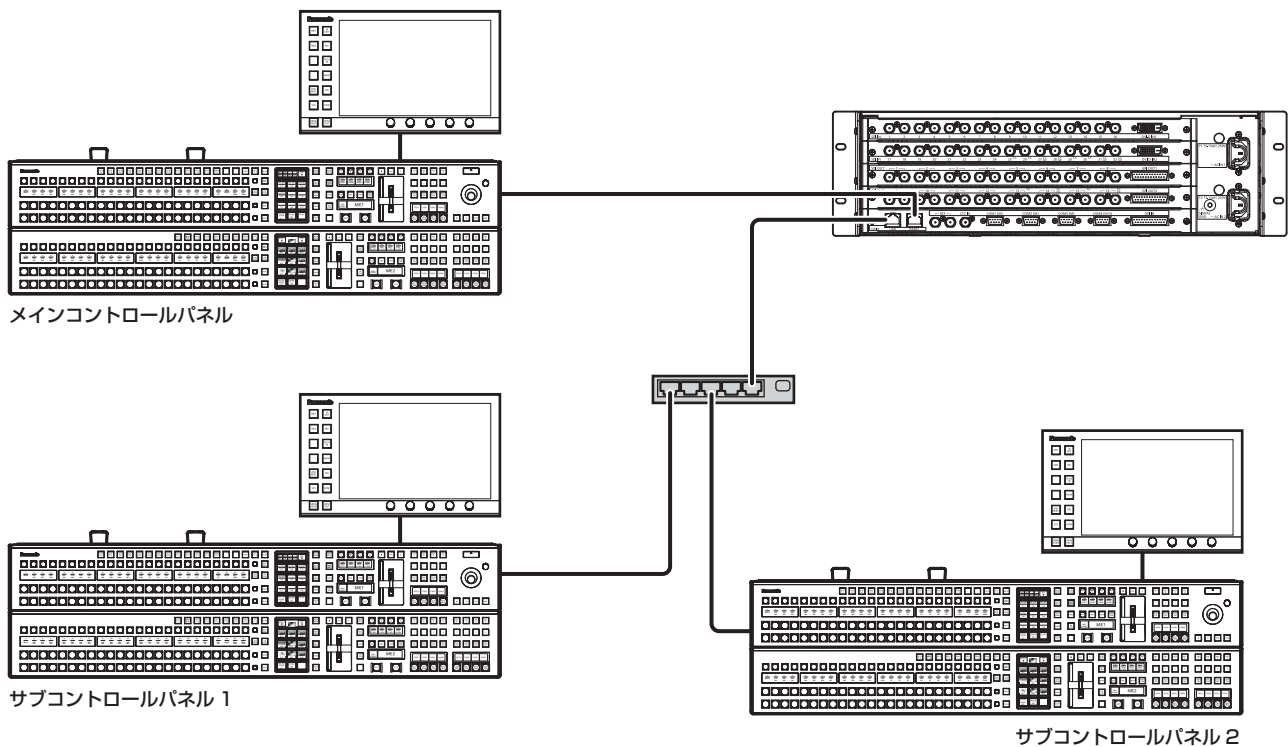
メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子とコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の〈MAIN FRAME〉端子を、付属の LAN ケーブル（CAT5E）で接続します。

付属ケーブル：LAN ケーブル（CAT5E）、ストレートケーブル、STP（Shielded Twisted Pair）、10 m



■ サブコントロールパネルの接続

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に 2、3 台目のコントロールパネル（サブコントロールパネル 1、サブコントロールパネル 2）を接続できます。



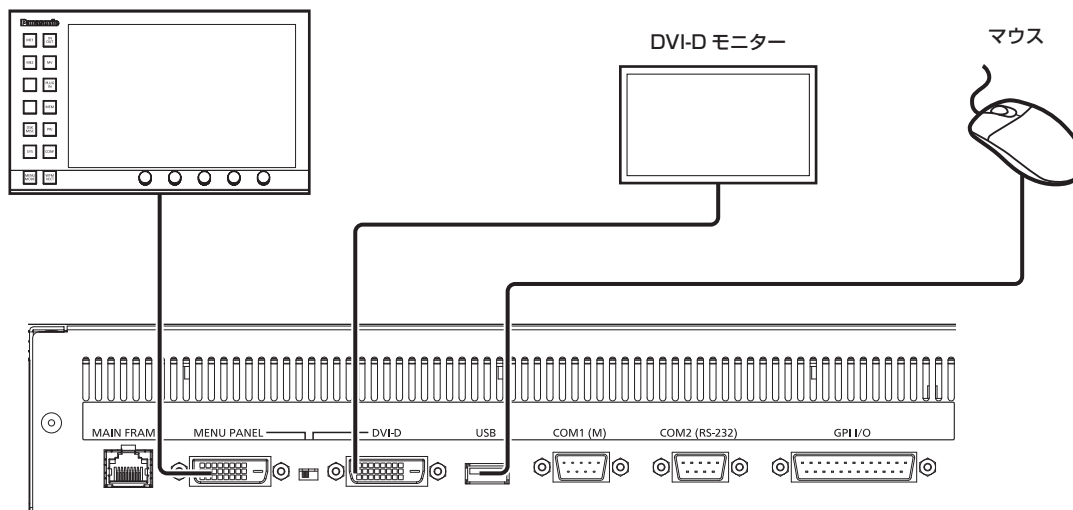
NOTE

- ・ サブコントロールパネルでは、メモリーカードは使用できません。
- ・ サブコントロールパネルでは、シリアルポートは使用できません。

- ・サブコントロールパネルに接続したメニューパネル AV-HS60C3 には、映像や WFM、VECTOR は表示されません。
- ・ご購入いただいたメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 とコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の組み合わせによっては、両者のファームウェアのバージョンが一致していないことがあります。サブコントロールパネルを初めてご使用になるときは、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子に接続してから電源を入れ、両者のファームウェアのバージョンを一致させてください。詳しくは、「初めて電源を入れたときのお知らせ」（15 ページ）を参照してください。
- ・サブコントロールパネルをご使用になるときは、ネットワークの設定変更が必要です。詳しくは、「コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のネットワーク設定」（29 ページ）を参照してください。

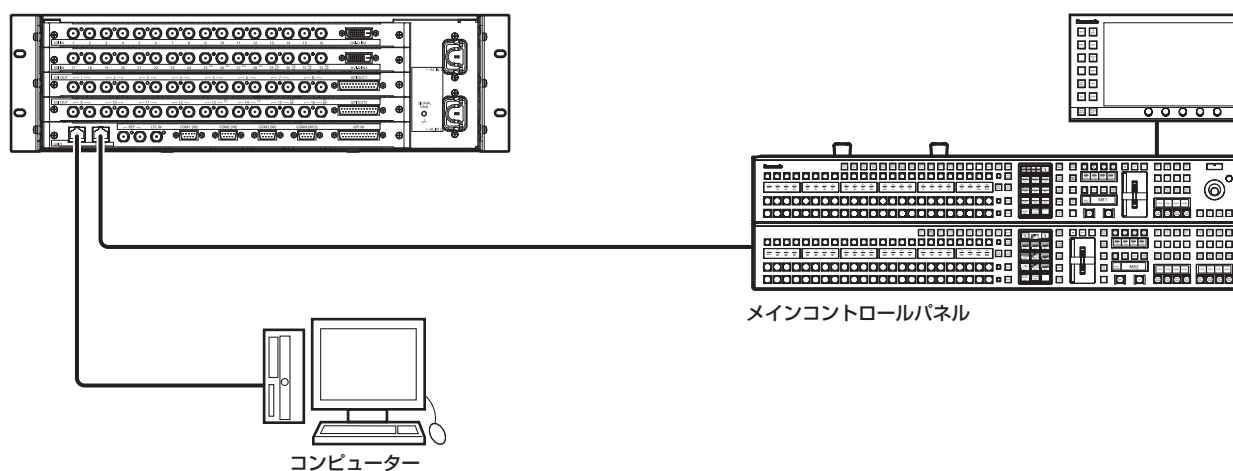
メニューパネル AV-HS60C3 の接続

オプションのメニューパネル AV-HS60C3 または 1366×768 解像度の DVI-D モニターおよび USB マウスを接続します。



■ コンピューターの接続

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に接続してコンピューターの Web ブラウザーから制御できます。Internet Explorer の場合、IE8 以前のブラウザでは使用できません。対応 OS、ブラウザについて、詳しくは「必要なコンピューターの環境」（7 ページ）を参照してください。



● コンピューターの設定

接続するコンピューターの IP アドレスは、プライベートアドレスの範囲内でメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 と違うアドレスを設定し、サブネットマスクはメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 と同じアドレスに設定してください。

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のネットワークの設定について、詳しくは「メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のネットワーク設定」（30 ページ）を参照してください。

● Web ブラウザーの設定

- コンピューターの Web ブラウザーを起動して、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の IP アドレスを入力してください（初期値：192.168.0.5）。
- Web ブラウザーを立ち上げたときは、次のユーザー名、パスワードを入力してください。
ユーザー名：admin
パスワード：admin

外部機器制御

外部機器との接続について、詳しくは取扱いガイド（PDF）の「外部インターフェース」を参照してください。

■ GPI I/O

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈GPI IN〉端子、〈GPI OUT1〉端子、〈GPI OUT2〉端子、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の〈GPI I/O〉端子を外部機器と接続します。

■ LAN

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子をコンピューターなどの外部機器と接続します。

- プラグインソフトウェア対応です。

■ シリアルポート

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のシリアルポート（RS-422×4）、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のシリアルポート（RS-422×1、RS-232×1）と外部機器を接続します。

- プラグインソフトウェア対応です。
- サブコントロールパネルでは、シリアルポートは使用できません。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 およびコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源〈POWER〉スイッチを〈ON〉にする

- リダンダント電源モデル (AV-HS60U2、AV-HS60C2、AV-HS60C4) は、1 系電源と 2 系電源の両方の電源〈POWER〉スイッチを〈ON〉にしてください。
- 電源が供給されると、電源表示灯が点灯します。

初めて電源を入れたときのお知らせ

初めてご使用になるときは、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子に、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 を接続し、電源を入れてください。

ご購入いただいたメインフレームとコントロールパネルの組み合わせによっては、両者のファームウェアのバージョンが一致していないことがあります。

メインフレームとコントロールパネルのファームウェアのバージョンが一致していないと、電源を入れたときにコントロールパネルが正常に起動しません。

バージョンが一致していないときの起動状態

手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 2 つが点滅します。1 つが緑色で点滅し、もう 1 つは赤色で点滅します。(図 1)

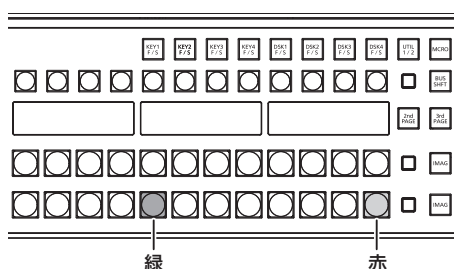


図 1

- この状態になったときは、コントロールパネルのファームウェアバージョンをメインフレームに合わせる必要があります。
- この状態にならずにコントロールパネルが正常に起動したときは、メインフレームとコントロールパネルのファームウェアのバージョンは一致しています。
- 最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアのバージョンをアップしてください。詳しくは、「ソフトウェアのバージョンをアップする」(16 ページ)を参照してください。

■ コントロールパネルのファームウェアバージョンをメインフレームに合わせるには

次の操作をすると、コントロールパネルのファームウェアが更新されます。更新が正しく行われると、コントロールパネルのファームウェアバージョンがメインフレームのファームウェアバージョンと一致し、正常に起動する状態になります。

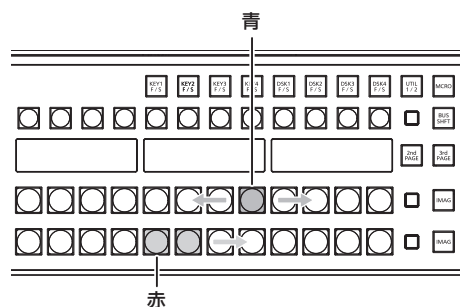


図 2

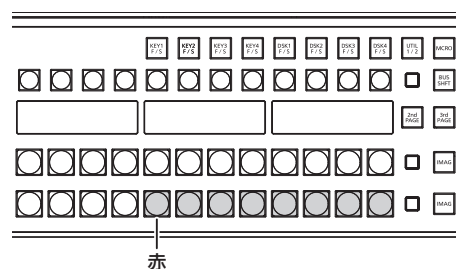


図 3

1 赤色に点滅しているボタン (図 1) を押す

ファームウェアの更新を開始します。

- コントロールパネルのファームウェアを更新している状態 (図 2)
 - 手前側の ME 列に属する PGM/A バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、青色で左から右へ繰り返し点滅します。
 - 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で左から右へ順番に点灯していきます。

約 2 分が経過すると、ファームウェアの更新が完了します。

- コントロールパネルのファームウェアが更新完了した状態
 - 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で点滅したままの状態になります。(図 3)
 - メインフレームのファームウェアバージョンによっては、コントロールパネルが自動で再起動することがあります。このときも、コントロールパネルのファームウェアは正しく更新されています。

2 メインフレームとコントロールパネルの電源を切る

- コントロールパネルのファームウェアの更新が完了した状態になってから、電源を切ってください。
- コントロールパネルのファームウェアを更新している状態 (図 2) では、メインフレームとコントロールパネルの電源を切らないでください。

電源を入れる / 切る

3 メインフレームとコントロールパネルの電源を入れる

ファームウェアが正しく更新されると、コントロールパネルが起動し、メニューパネルにメニュー画面が表示されます。

4 〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Boot] タブ → [Initial] コラム → [Initial] ボタンを選択する

5 確認画面で [OK] を選択する

AV-HS6000 が初期化されます。

続いて、「ソフトウェアのバージョンをアップする」(16 ページ) の手順へ進んでください。

■ ソフトウェアのバージョンをアップする

最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアのバージョンをアップします。

1 〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Status] タブ → [System Version] コラム → [System Version] を確認する

2 必要に応じて、ソフトウェアのバージョンアップを行う

次の Web サイトで、最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアバージョンアップを行ってください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/> (日本語のみ)

<https://pro-av.panasonic.net/> (英語のみ)

- コントロールパネル AV-HS60C4 は、ソフトウェアのバージョンが 3.10-00-0.00 以上でなければ、正常動作しません。手順 1 で確認したソフトウェアのバージョンが、3.10-00-0.00 未満の場合は、必ずバージョンをアップしてください。

電源を切る

1 メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 およびコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源〈POWER〉スイッチを〈OFF〉にする

- リダundant電源モデル (AV-HS60U2、AV-HS60C2/AV-HS60C4) は、1 系電源と 2 系電源の両方の電源〈POWER〉スイッチを〈OFF〉にしてください。
- 電源が遮断されると、電源表示灯が消灯します。

NOTE

- メモリーカードやストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) にアクセス中などに、電源を切らないでください。メモリーカードのデータを破損する場合があります。
- 電源を切り、再度電源を入れたときは、VMEM (ビデオメモリー) の画像データ以外は電源断時の設定で起動します。ただし、次の場合は、変更した設定を約 60 秒間隔で不揮発性メモリーにバックアップしているため、電源断時の設定は再現しますが、電源を切る約 60 秒以内の変更設定値は更新されていない場合があります。確実に更新するためには電源を切る前に約 60 秒間、設定の変更を行わないでください。
 - バックグラウンドワイププリセット
 - キーソースプリセット

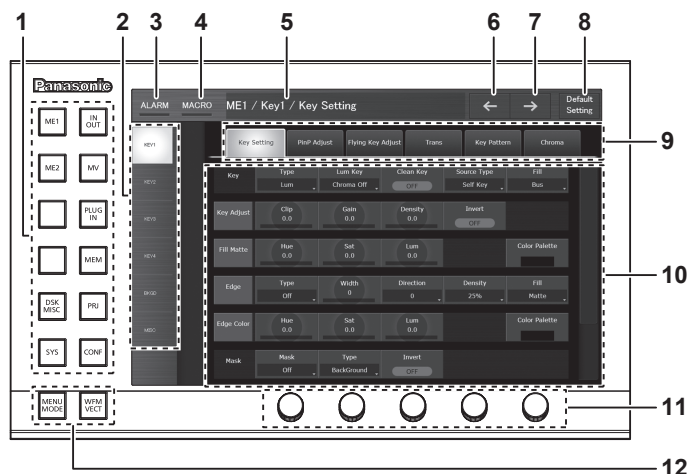
メニューの基本操作

メニューの基本操作を説明します。メニューパネル AV-HS60C3、または汎用 DVI モニターなどと接続して、メニュー操作を行います。本書ではメニューパネル AV-HS60C3 での操作を基本として記載しております。接続する機器によって、操作方法は異なります。メニューの構成は、取扱いガイド (PDF) の「セッティングメニュー一覧」を参照してください。

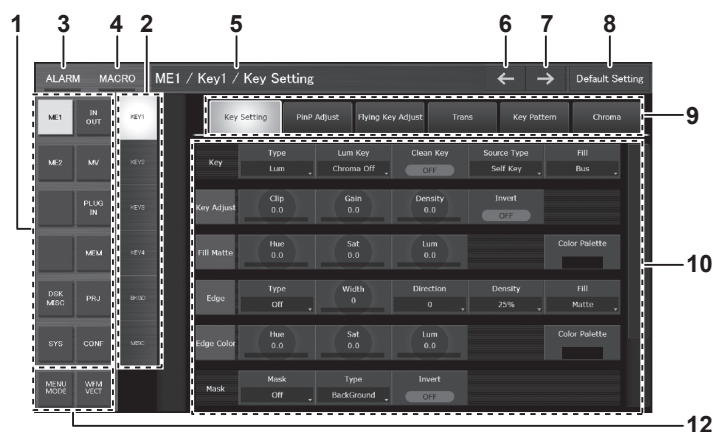
メニュー構成と操作

メニューの表示について

■ メニューパネル AV-HS60C3



■ 汎用 DVI モニター、LAN 接続したコンピューター



1 トップメニュー

メニューの第 1 階層を選択します。

2 ファンクションメニュー

メニューの第 2 階層を選択します。設定したい項目が表示されていない場合は、スクロールバーを動かして表示させてください。

3 [ALARM]

アラーム発生時に、[ALARM] のインジケータ部分に赤色に点灯します。

[ALARM] を選択すると、トップメニューの〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Alarm] タブのページが表示されます。

4 [MACRO]

[MACRO] のインジケータ部分の点灯状況は、次のとおりです。

- マクロ記録中は、赤色に点灯します。
- マクロ実行中は緑色に点灯します。
- マクロ再生が一時停止しているときは、オレンジ色に点灯します。

[MACRO] を選択すると、トップメニューの〈MEM〉ボタン → [MACRO] → [Macro] タブのページが表示されます。[Macro] タブの [Status] をご確認ください。

5 ページタイトル

表示しているページのタイトルを表示します。ページタイトルは、表示しているページのトップメニュー / ファンクションメニュー / メニュータブが表示されます。

6 前の画面

10 回分まで、以前に操作したページに戻ります。

7 次の画面

戻ったページから、次のページに移行します。

8 [Default Setting] ボタン

ボタンを選択状態で、メニュータブまたはファンクションメニューを選択すると該当ページがすべて初期化されます。

9 メニュータブ

メニューの第3階層を選択します。

10 ページ

各種設定を行います。設定したい項目が表示されていない場合は、スクロールバーを動かして表示させてください。ページ内の1行をコラムと呼びます。

11 ロータリーエンコーダー

数値入力操作に使用します。汎用 DVI モニターや、LAN 接続したコンピューターにはありません。

詳しくは「ロータリーエンコーダーまたはコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 を使用した数値の入力」(19 ページ)を参照してください。

12 画面分割 (〈MENU MODE〉、〈WFM VECT〉) ボタン

メニュー画面の表示を切り替えます。

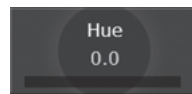
詳しくは取扱いガイド (PDF) の「メニュー画面の分割表示について」を参照してください。

数値入力項目の操作

数値入力項目は、次の2通りの方法で数値を入力できます。

画面に表示される内容は、時間入力の場合など、入力する数値の種類によって異なります。

- ソフトテンキー画面を使用する操作
- ロータリーエンコーダーを使用する操作

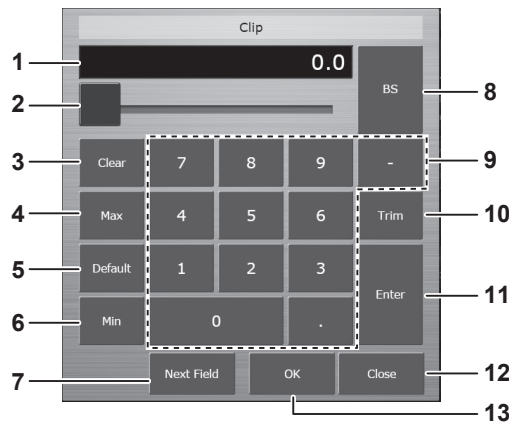


ソフトテンキーを使用した数値の入力

数値入力項目を選択すると、ソフトテンキー画面が開きます。設定して閉じると、項目に設定した数値と数値バーが表示されます。

画面に表示される内容は、時間入力の場合など、入力する数値の種類によって異なります。

■ ソフトテンキー画面



1 入力フィールド

入力した数値が表示されます。[Enter] を選択後は、項目の表示形式に合わせた数値が表示されます。ソフトテンキー画面を表示した直後は、現在の数値が表示されます。

2 スライダー

スライダーを移動させ、入力フィールドの数値を変更し、値を確定します。

3 [Clear]

入力フィールドのすべての数値を消します。

4 [Max]

項目の設定範囲の最大値を、入力フィールドに反映します。

5 [Default]

初期値を入力フィールドに反映します。

6 [Min]

項目の設定範囲の最小値を、入力フィールドに反映します。

7 [Next Field]

[Next Field] を選択して [OK] を選択すると、ソフトテンキー画面を閉じずに変更を確定し、同じコラム内の次の数値入力項目に移行します。時間入力の場合には表示されません。

8 [BS]

入力フィールドの最後の数値を消します。

9 [0] ~ [9]、[.]、[-]

入力フィールドに反映したい値を順に選択します。時間入力の場合には、[.] は [-] に置き換わり、[-] は表示されません。

10 [Trim]

差分値を入力して、数値を変更できます。時間入力の場合には表示されません。

[Trim] を選択し、カレント数値表示の後に「数値」または「マイナス」+「数値」を入力します。差分値を入力後、[Enter] を押して、項目の表示形式に合わせた値に変換された数値を入力フィールドに反映します。

11 [Enter]

入力した数値を、項目の表示形式にあわせて表示し、値を確定します。

例) 入力した数値の変換表示 (項目の設定範囲が [-10.0] ~ [10.0] の場合)

[1] + [0] + [Enter] = [10.0]

[1] + [Enter] = [1.0]

[.] + [1] + [Enter] = [0.1]

[-] + [.] + [1] + [Enter] = [-0.1]

12 [Close]

ソフトテンキー画面を閉じます。

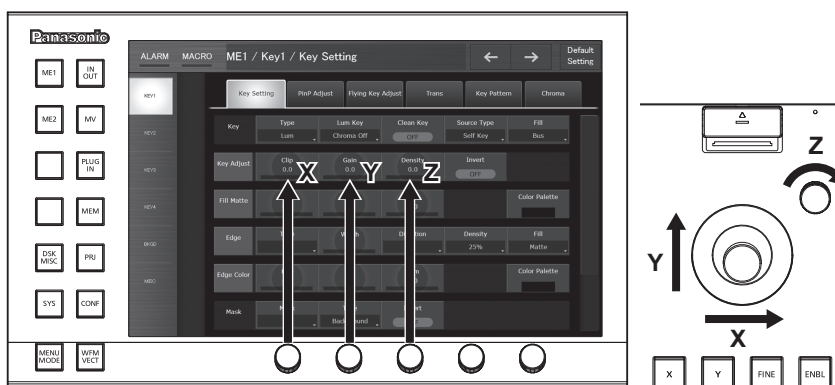
13 [OK]

変更を確定し、ソフトテンキー画面を閉じます。

ロータリーエンコーダーまたはコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 を使用した数値の入力

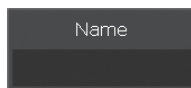
数値入力項目またはコラムのタイトル部を選択すると、該当コラムが選択された状態 (フォーカス状態) になります。コラムがフォーカス状態のときに、設定したい項目に対応するロータリーエンコーダーのつまみを回して数値を変更できます。コラムの左側から 3 つの項目は、ポジションナー部のポジションナー (X 軸、Y 軸)、Z 軸ダイヤルでも操作できます。

また、ロータリーエンコーダーにはプッシュスイッチ機能があります。ダブルクリックすると、項目が初期設定の数値に戻ります。

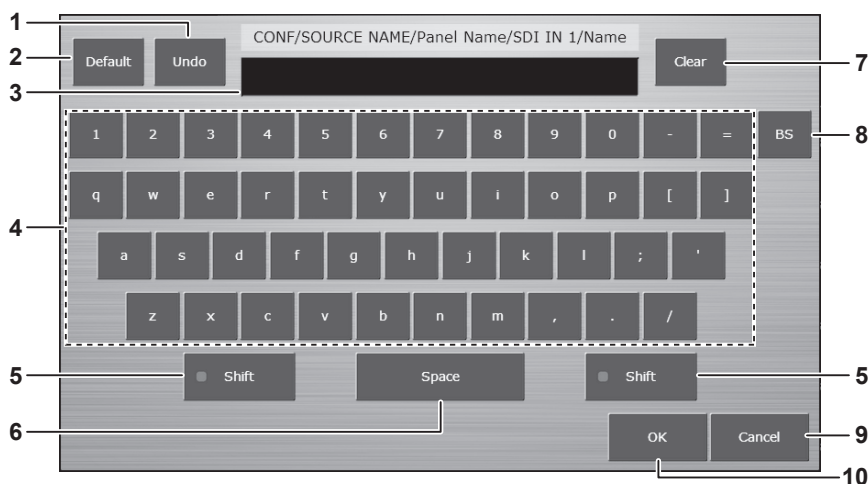


文字入力項目の操作

文字入力項目を選択すると、キーボード画面が表示されます。設定して閉じると、項目に設定した文字が表示されます。



■ キーボード画面



1 [Undo]

キーボード画面を表示する前の値を、入力フィールドに反映します。

2 [Default]

初期値を入力フィールドに反映します。

3 入力フィールド

入力した文字が表示されます。キーボード画面を表示した直後は、現在の文字列が表示されます。

4 英数字、記号

入力フィールドに反映したい、英数字または記号を順に選択します。

5 [Shift]

キーボードの表示が切り替わります。(大文字、小文字)

6 [Space]

入力フィールドにスペースを入力します。

7 [Clear]

入力フィールドの文字列を、すべて消去します。

8 [BS]

入力フィールドの最後の文字を消去します。

9 [Cancel]

キーボード画面を閉じます。

10 [OK]

変更を確定し、キーボード画面を閉じます。

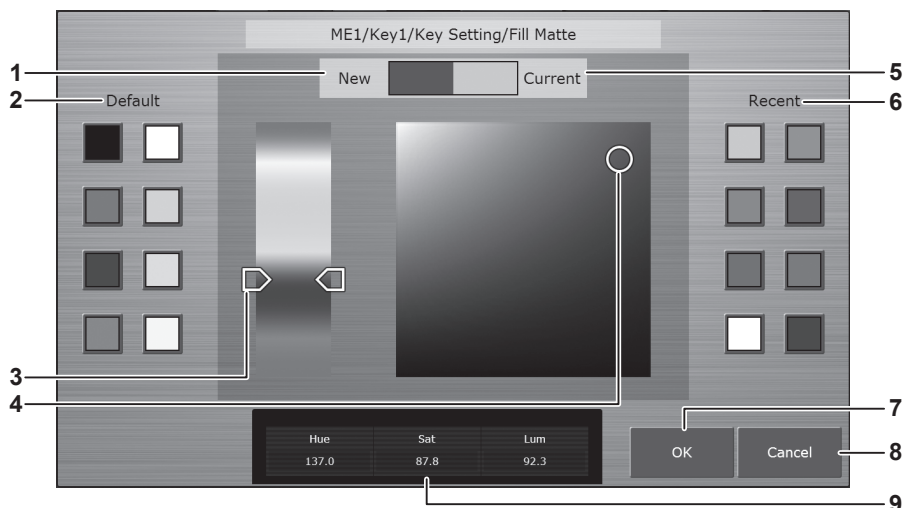
カラー設定メニューの操作

スイッチャーで生成する各種カラーは、次の2通りの方法で設定できます。

- [Hue]、[Sat]、[Lum] の各項目に、数値を直接入力する。(18 ページ)
- [Hue]、[Sat]、[Lum] と同じコラムの [Color Palette] を選択し、カラーパレット画面を使用する。



■ カラーパレット画面



1 [New]

カラーパレット画面で、変更中の色を表示します。

2 [Default]

基本色の8色を表示します。選択すると同じ色が設定されます。

3 Hue Pad

任意の色をタップして色相を設定します。

縦軸：色相 (Hue)

4 Sat/Lum Pad

任意の色をタップして彩度、明度を設定します。

横軸：彩度 (Sat)

縦軸：明度 (Lum)

5 [Current]

カラーパレット画面を表示する前の設定色を表示します。

6 [Recent]

最近設定した色を表示します。選択すると同じ色が設定されます。

他の項目のカラーパレット画面と共通で、レジュームの対象です。

7 [OK]

カラーパレット画面を閉じます。

8 [Cancel]

カラーパレット画面を閉じます。

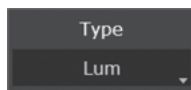
9 [Hue]、[Sat]、[Lum]

変更中の色を数値表示します。

その他のボタン

リストボックス

選択画面が開きます。項目を選択すると画面が閉じ、リストボックスの下部に選択されたものが表示されます。機能によっては、項目を選択したあとに [OK] を選択して画面を閉じます。



ラジオボタン

複数選択肢から択一選択します。



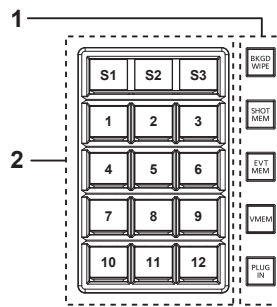
チェックボタン

項目のオン、オフを設定します。選択するたびに、オンとオフが切り替わります。



マルチセレクトパネル部の基本操作

マルチセレクトパネル部は、ワイブパターン選択、各種メモリー操作などを統合した、ボタン付きのカラー液晶パネルです。



1 モード選択ボタン

マルチセレクトパネル部右側のボタンでモードを切り替えます。

2 マルチセレクトメニューパネル

S1 ~ S3	メニューのステータス領域です。メニューごとに表示や機能が異なります。メニューによっては、S1、S3 でボタン操作を行います。
1 ~ 12	3×4 の 12 個のボタンで構成されています。メニューごとに表示や機能が異なります。

NOTE

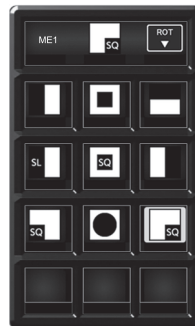
- マルチセレクトパネル部を操作して、ME 部の入れ替えも行えます。詳しくは、取扱ガイド (PDF) の「コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の ME 部の入れ替え」を参照してください。

バックグラウンドワイブプリセットメニュー

バックグラウンドワイブプリセットメニューは、マルチセレクトパネル部の〈BKGD WIPE〉ボタンを押して表示します。

ME ごとにバックグラウンドのワイブプリセットパターンを 9 個記憶できます。

該当 ME で使用しているワイブの設定は、パターン選択メニューで選択されているパターンボタンに常に記憶されます。別のパターンボタンを選択すると以前に記憶されたワイブパターンと設定値が読み出されます。



パターン選択メニュー

■ パターン選択メニュー

マルチセレクトパネル部の〈BKGD WIPE〉ボタンを押し、パターン選択メニューを表示します。

S1	[ME1]、[ME2]	操作対象の ME を表示します。
S2	カレントパターン	現在のバックグラウンドワイブパターンを表示します。
S3	[ROT]	ワイブパターンを、90° もしくは 180° 回転させます。回転が有効でないパターンを選択しているときは、変化しません。
1 ~ 9	パターン 1 ~ パターン 9	バックグラウンドのワイブプリセットパターンを選択します。

NOTE

- ショットメモリーやイベントメモリーの再生をすると、マルチセレクトパネル部のバックグラウンドワイブプリセットメニューでの選択ボタンが左上 (パターン 1) に移動します。

ショットメモリーメニュー

ショットメモリーメニューは、マルチセレクトパネル部の〈SHOT MEM〉ボタンを押して表示します。
 81個（9ページ×9個）のレジスタメモリー登録・再生操作を行います。
 メモリーのページ番号は、1ページ～9ページまで指定できます。
 指定した各ページ番号には、それぞれメモリー番号として1～9まで指定できます。



レジスタメモリー操作メニュー



[TARGET SELECT] メニュー



[PAGE SELECT] メニュー

■ レジスタメモリー操作メニュー

マルチセレクトパネル部の〈SHOT MEM〉ボタンを押し、レジスタメモリー操作メニューを表示します。

S1、S2	[TARGET SELECT] メニューのステータス表示欄	[TARGET SELECT] メニューで選択している項目を表します。
S3	[SEL]	[TARGET SELECT] メニューに移行します。
1～9	操作対象レジスタメモリー	操作対象レジスタメモリーを選択します。上段にショットメモリー名称、下段にショットメモリー番号を表示します。
10	[RECALL/STORE/DEL]	操作モードを切り替えます。
11	[PAGE SEL]	[PAGE SELECT] メニューに移行します。
12	—	—

■ [TARGET SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [SEL] を選択し、[TARGET SELECT] メニューを表示します。

S1～S3	[TARGET SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1	[ME1]	ショットメモリーの登録対象（[STORE] モード時）または再生対象（[RECALL] モード時）を選択します。
2	[ME2]	
3	—	
4	—	
5	[XPT]	
6	[DSK]	
7	[AUX]	
8	[CBGD]	
9	—	
10	—	—
11	[EXIT]	レジスタメモリー操作メニューに移行します。
12	—	—

■ [PAGE SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [PAGE SEL] を選択し、[PAGE SELECT] メニューを表示します。

S1～S3	[PAGE SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1～9	[PAGE1]～[PAGE9]	レジスタメモリーのページ番号を選択します。
10	—	—
11	[EXIT]	レジスタメモリー操作メニューに移行します。
12	—	—

イベントメモリーメニュー

イベントメモリーメニューは、マルチセレクトパネル部の〈EVT MEM〉ボタンを押して表示します。

81個（9ページ×9個）のレジスタメモリー再生操作を行います。

メモリーのページ番号は、1ページ～9ページまで指定できます。

指定した各ページ番号には、それぞれメモリー番号として1～9まで指定できます。



レジスタメモリー操作メニュー



[TARGET SELECT] メニュー



[PAGE SELECT] メニュー

■ レジスタメモリー操作メニュー

マルチセレクトパネル部の〈EVT MEM〉ボタンを押し、レジスタメモリー操作メニューを表示します。

S1、S2	[TARGET SELECT] メニューのステータス表示欄	[TARGET SELECT] メニューで選択している項目を表します。 • [CLP+] : [TARGET SELECT] メニューで、[CLIP] または [CBGD] が選択されている場合に点灯します。
S3	[SEL]	[TARGET SELECT] メニューに移行します。
1～9	操作対象レジスタメモリー	操作対象レジスタメモリーを選択します。各項目には、ページ番号と枝番などが表示されます。
10	—	—
11	[PAGE SEL]	[PAGE SELECT] メニューに移行します。
12	[PLAY]	再生待ち状態、一時停止状態のときに、再生を開始します。

■ [TARGET SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [SEL] を選択し、[TARGET SELECT] メニューを表示します。

S1～S3	[TARGET SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1	[ME1]	イベントメモリーの再生対象を選択します。
2	[ME2]	
3	—	
4	—	
5	[XPT]	
6	[DSK]	
7	[AUX]	
8	[CBGD]	
9	[CLIP]	
10	—	—
11	[EXIT]	レジスタメモリー操作メニューに移行します。
12	—	—

■ [PAGE SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [PAGE SEL] を選択し、[PAGE SELECT] メニューを表示します。

S1～S3	[PAGE SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1～9	[PAGE1]～[PAGE9]	レジスタメモリーのページ番号を選択します。
10	—	—
11	[EXIT]	レジスタメモリー操作メニューに移行します。
12	—	—

ビデオメモリーメニュー

ビデオメモリーメニューは、マルチセレクトパネル部の〈VMEM〉ボタンを押して表示します。

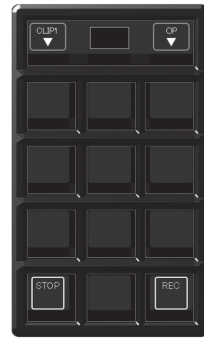
動画メモリー (Clip)、静止画メモリー (Still) の録画、再生、およびレジスタメモリー保存、呼び出し操作を行います。



レジスタメモリー操作メニュー



[PLAY] メニュー



[REC] メニュー



[CHANNEL SELECT] メニュー



[OPERATION SELECT] メニュー



[PAGE SELECT] メニュー

■ レジスタメモリー操作メニュー

マルチセレクトパネル部の〈VMEM〉ボタンを押し、レジスタメモリー操作メニューを表示します。

S1	[STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4]	[CHANNEL SELECT] メニューに移行します。 ●ボタンには [STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象が表示されています。
S2	カレントサムネール	[STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象に記憶されているサムネールを表示します。
S3	[OP]	[OPERATION SELECT] メニューに移行します。
1 ~ 9	操作対象レジスタメモリー	操作対象レジスタメモリーを選択します。各項目には、ページ番号と枝番などが表示されます。
10	[RECALL/STORE/DEL]	操作モードを切り替えます。
11	[PAGE SEL]	[PAGE SELECT] メニューに移行します。

■ [PLAY] メニュー ([CLIP 1] ~ [CLIP 4] を操作時のみ)

[OPERATION SELECT] メニューで [PLAY] を選択し、[PLAY] メニューを表示します。

S1	[CLIP 1] ~ [CLIP 4]	[CHANNEL SELECT] メニューに移行します。 ●ボタンには [CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象が表示されています。
S2	カレントサムネール	[STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象に記憶されているサムネールを表示します。
S3	[OP]	[OPERATION SELECT] メニューに移行します。
4	[LEAD]	Clip の先頭に移動します。
6	[LAST]	Clip の最後に移動します。
8	[PAUSE]	操作対象 Clip の再生を一時停止します。
10	[STOP]	操作対象 Clip の再生を停止します。
12	[PLAY]	対象 Clip の再生を開始します。

■ [REC] メニュー

[OPERATION SELECT] メニューで [REC] を選択し、[REC] メニューを表示します。

S1	[STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4]	[CHANNEL SELECT] メニューに移行します。 ●ボタンには [STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象が表示されています。
S2	カレントサムネール	[STILL 1] ~ [STILL 4]、[CLIP 1] ~ [CLIP 4] の内、操作対象に記憶されているサムネールを表示します。

マルチセレクトパネル部の基本操作

S3	[OP]	[CHANNEL SELECT] メニューに移行します。
10	[STOP]	操作対象 Clip の録画を停止します。 • [STILL1] ~ [STILL4] の場合は操作できません。
12	[REC]	操作対象のビデオメモリーに VMEM バスで選択した素材を録画します。

■ [CHANNEL SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [STILL1] ~ [STILL4] または [CLIP1] ~ [CLIP4] を選択し、[CHANNEL SELECT] メニューを表示します。

S1 ~ S3	[CHANNEL SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1 ~ 4	[STILL1] ~ [STILL4]	操作対象を選択します。
5 ~ 8	[CLIP1] ~ [CLIP4]	選択すると、元のメニューに戻ります。
11	[EXIT]	元のメニューに戻ります。

■ [OPERATION SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [OP] を選択し、[OPERATION SELECT] メニューを表示します。

S1 ~ S3	[OPERATION SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1	[REG SEL]	レジスタメモリー操作メニューに移行します。
2	[PLAY]	[PLAY] メニューに移行します。 • [STILL1] ~ [STILL4] の場合は操作できません。
3	[REC]	[REC] メニューに移行します。
11	[EXIT]	元のメニューに戻ります。

■ [PAGE SELECT] メニュー

レジスタメモリー操作メニューで [PAGE SEL] を選択し、[PAGE SELECT] メニューを表示します。

S1 ~ S3	[PAGE SELECT]	メニューのタイトルが表示されます。
1 ~ 9	[PAGE1] ~ [PAGE9]	レジスタメモリーのページ番号を選択します。
11	[EXIT]	元のメニューに戻ります。

プラグインメニュー

プラグインメニューは、マルチセレクトパネル部の〈PLUG IN〉ボタンを押して表示します。

プラグインソフトウェアのメニューとして使用します。

内容はプラグインソフトウェアの仕様によって変わります。

NOTE

• マルチセレクトパネル部のプラグインソフトウェアでの操作は、将来対応の機能です。

メニューデリゲーション機能

コントロールパネルのボタンをダブルクリックすると、メニューパネル AV-HS60C3 またはマルチセレクトパネル部に表示されるメニュー画面を切り替えられます。

このとき同時に、ボタンを押したときの通常の動作も実行されます。

メニューデリゲーション機能の設定

メニューパネル AV-HS60C3 とマルチセレクトパネル部それぞれで、メニューデリゲーション機能の有効 / 無効を設定します。

1 〈SYS〉 ボタン → [CTRL PANEL] → [Main Panel] / [SubPanel1] / [SubPanel2] タブを選択する

2 [Delegation] コラムの [MenuPanel]、[Select Panel] で項目を選択する

[On] ボタン	メニューデリゲーション機能を有効にします。
[Off] ボタン	メニューデリゲーション機能を無効にします。

メニューデリゲーション機能一覧

ボタン		メニューパネル AV-HS60C3 の遷移メニュー	マルチセレクトパネル部の遷移メニュー
ボタン位置	操作対象ボタン		
クロスポイント部	〈KEY1 F/S〉、〈KEY2 F/S〉、 〈KEY3 F/S〉、〈KEY4 F/S〉	<ul style="list-style-type: none"> キータイプが [Lum] / [Linear] / [Full] の場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [Key Setting] タブ キータイプが [Chroma] の場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [Chroma] タブ PinP が有効に設定されている場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [PinP Adjust] タブ 	—
	〈MCRO〉	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [MACRO] → [XPT Assign] タブ	—
	A バスの 〈IMAG〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [IMAGE] → [BKGD] タブ → [A Effect1] コラム	—
	B バスの 〈IMAG〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [IMAGE] → [BKGD] タブ → [B Effect1] コラム	—
	〈CBGD1〉*、〈CBGD2〉*	トップメニューの 〈DSK MISC〉 ボタン → [CBGD] → [CBGD1] / [CBGD2] タブ → [Main Color] コラム	—
	〈DSK1 F/S〉 ~ 〈DSK4 F/S〉	トップメニューの 〈DSK MISC〉 ボタン → [DSK1] ~ [DSK4] → [Setting] タブ → [DSK Adjust] コラム	—
	〈VMEM F/S〉	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [STILL] → [Still] タブ	—
	〈DISP〉	DISP バスで選択した映像と WFM/VECT を表示する分割表示に切り替わります。	—
	〈STILL1 V/K〉 ~ 〈STILL4 V/K〉*	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [STILL] → [Still] タブ	[STILL1] ~ [STILL4] のレジスタメモリー選択
	〈CLIP1 V/K〉 ~ 〈CLIP4 V/K〉*	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [CLIP] → [Play Clip1] ~ [Play Clip4] タブ	[CLIP1] ~ [CLIP4] のレジスタメモリー選択
トランジション部	〈KEY1〉 ~ 〈KEY4〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [Transition] タブ → [In Type] コラム	—
	〈BKGD〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Transition] タブ	—
	〈WIPE〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Edge Border] タブ	BKGD WIPE の波形選択
	〈EMEM LINK〉	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [EVENT MEMORY] → [Register] タブ	イベントメモリー選択
	〈MCRO ATCH〉	トップメニューの 〈MEM〉 ボタン → [MACRO] → [Macro Attach] 画面	—
	〈PATT LIMIT〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Position] タブ → [Pattern Limit] コラム	—
	〈AUTO〉	トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Transition] タブ	—

メニューデリゲーション機能

ボタン		メニューパネル AV-HS60C3 の遷移メニュー	マルチセレクトパネル部の遷移メニュー
ボタン位置	操作対象ボタン		
KEY オペレーション部	〈KEY1〉 ~ 〈KEY4〉	<ul style="list-style-type: none"> • キータイプが [Lum] / [Linear] / [Full] の場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [Key Setting] タブ • キータイプが [Chroma] の場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [Chroma] タブ • PinP が有効に設定されている場合 トップメニューの 〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [KEY1] ~ [KEY4] → [PinP Adjust] タブ 	—
DSK オペレーション部	〈DSK1〉 ~ 〈DSK4〉	トップメニューの 〈DSK MISC〉 ボタン → [DSK1] ~ [DSK4] → [Setting] タブ	—

* PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタンにアサインした場合に使用できます。

各種設定

ネットワークの設定

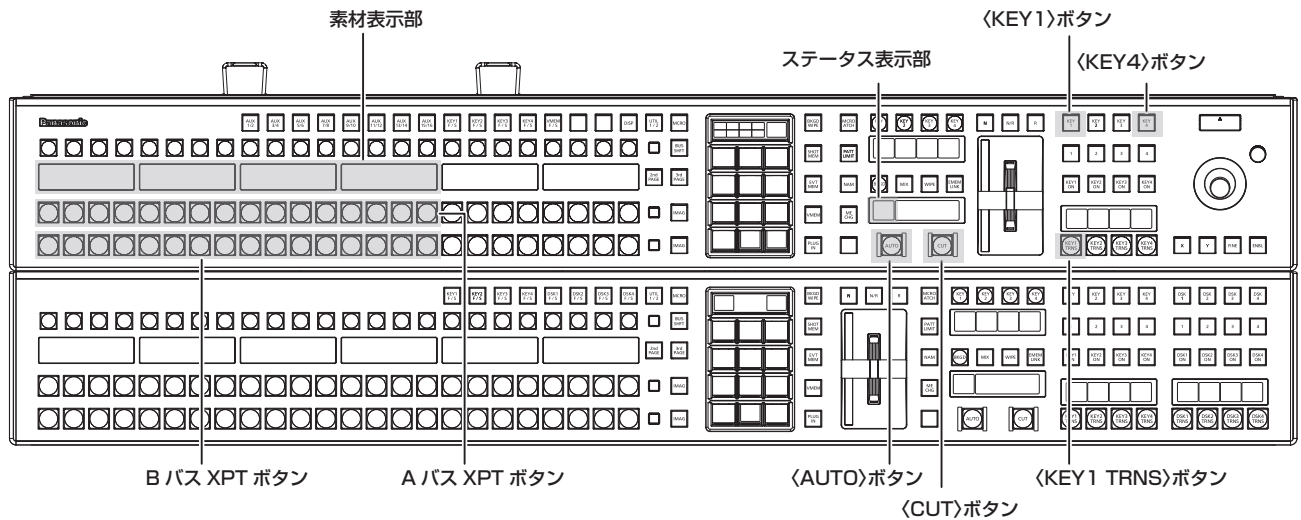
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 とメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のネットワークを設定します。

コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のネットワーク設定

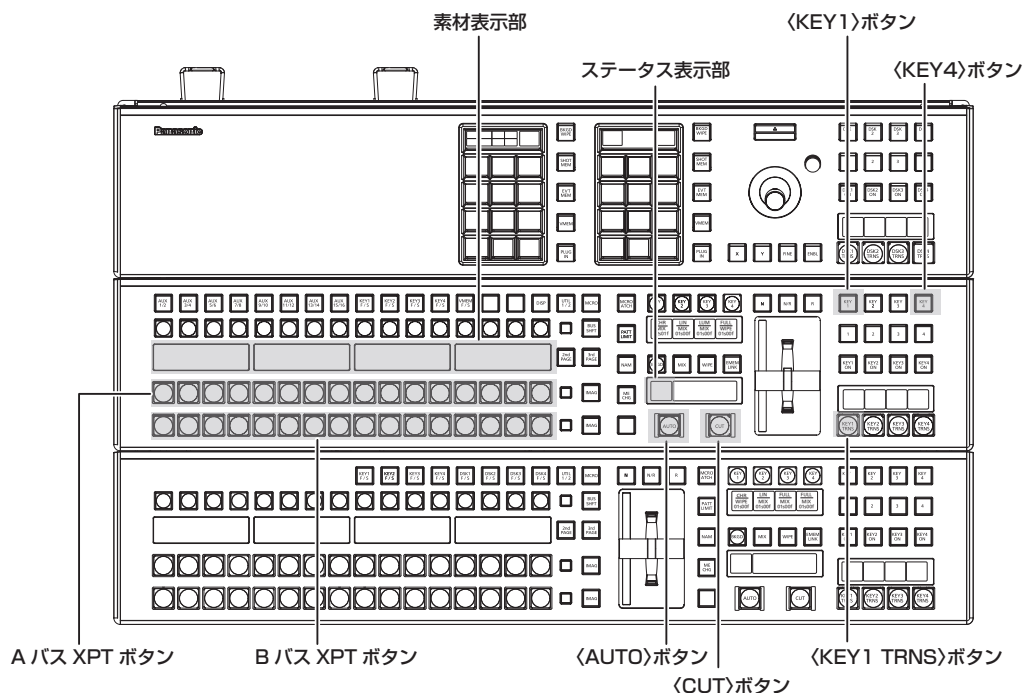
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のネットワークを設定します。

- コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の台数によって、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 に接続する端子が異なります。
 - 1 台のみ接続する場合
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 は、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子に接続します。コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のネットワーク設定を行う必要はありません。
 - 2 台以上接続する場合
1 台目のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 (メインコントロールパネル) は、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子に接続します。
2 台目以降のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 (サブコントロールパネル) は、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に接続します。サブコントロールパネルは、接続する前に、ネットワークの設定変更が必要です。
- 初期設定は、IP アドレス：10.0.0.2、サブネットマスク：255.255.255.248、接続先とするメインフレームの IP アドレス：10.0.0.1、デフォルトゲートウェイ：0.0.0.0 です。

■ AV-HS60C1/AV-HS60C2



■ AV-HS60C4



1 コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源を切る

2 上部の ME 列の KEY オペレーション部 (KEY1) ボタン、(KEY4) ボタン、(KEY1 TRNS) ボタンを押しながら、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源を入れる

コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 が、ネットワーク設定モードで起動します。ネットワーク設定モードになると、上部の ME 列のうち、ステータス表示部と素材表示部の一部が次のようになります。

- ステータス表示部：設定項目が表示されます。
上部の ME 列に属する (AUTO) ボタンを押すごとに、設定項目が切り替わります。

表示	設定項目	設定例
IP	IP アドレス	192.168.0.8
MSK	サブネットマスク	255.255.255.0
GTW	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MIP	接続先とするメインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の IP アドレス	192.168.0.5

- 素材表示部：設定値が表示されます。
設定値の下にある A バス XPT ボタンを押すと、値が増加します。
設定値の下にある B バス XPT ボタンを押すと、値が減少します。

3 各項目を設定する

各設定項目に対する設定値を変更し、上部の ME 列に属する (CUT) ボタンを押して確定します。

- 正しく設定されると、(CUT) ボタンが緑色に点灯します。
- 正しく設定されないときは、(CUT) ボタンが赤色に点灯します。
- (CUT) ボタンを押さずに設定項目を切り替えたいときは、変更した設定値は確定されません。
- IP アドレスの値を変更し (CUT) ボタンを押すと、サブネットマスクの値と照合されます。このとき、ホストアドレスのバイナリー値が全て 0、もしくは 1 になるとエラーとなり変更が確定されません。(CUT) ボタンが赤色に点灯します。この場合は、先にサブネットマスクの値を変更してから、IP アドレスの値を変更してください。

4 コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の電源を切る

NOTE

- サブネットマスクは、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子に設定したアドレスと同じアドレスを設定してください。
- IP アドレスは、次の IP アドレスと重複しないアドレスを設定してください。
 - メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子に接続された他の機器に設定されている IP アドレス
 - メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子に設定した IP アドレス
- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子の初期設定を変更していない場合は、設定例に記載した値を設定すると、サブコントロールパネルとして接続できます。
- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子のネットワーク設定について、詳しくは「メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のネットワーク設定」(30 ページ) を参照してください。

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 のネットワーク設定

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子のネットワークを設定します。

- 初期設定は、IP アドレス：192.168.0.5、サブネットマスク：255.255.255.0、デフォルトゲートウェイ：設定無しです。

1 (SYS) ボタン → [SYSTEM] → [Network] タブを選択する

2 [Network1] コラムの [IP Address]、[Subnet Mask] を設定する

[IP Address]	IP アドレスを設定します。(設定例：192.168.0.5)
[Subnet Mask]	サブネットマスクを設定します。(設定例：255.255.255.0)

- IP アドレスの値を変更すると、サブネットマスクの値と照合されます。このとき、ホストアドレスのバイナリー値が全て 0、もしくは 1 になるとエラーとなり変更が確定されません。この場合は、先にサブネットマスクの値を変更してから、IP アドレスの値を変更してください。

3 [Network2] コラムの [Default Gateway]、[MAC Address] を設定 / 確認する

[Default Gateway]	デフォルトゲートウェイを設定します。
[MAC Address]	MAC アドレスを確認します。

4 (SYS) ボタン → [CTRL PANEL] → [SubPanel1] タブ → [Network] コラムで、接続先とするサブコントロールパネル 1 の IP アドレスを設定する

[IP Address]：接続先とするサブコントロールパネル 1 の IP アドレスを設定します。(設定例：192.168.0.8)
サブコントロールパネルを接続しているときのみ設定してください。

5 (SYS) ボタン → [CTRL PANEL] → [SubPanel2] タブ → [Network] コラムで、接続先とするサブコントロールパネル 2 の IP アドレスを設定する

[IP Address]：接続先とするサブコントロールパネル 2 の IP アドレスを設定します。(設定例：192.168.0.9)
サブコントロールパネルを接続しているときのみ設定してください。

NOTE

- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (PANEL) 端子では、IP アドレス 10.0.0.0 ~ 10.0.0.7 のネットワークを使用しています。この設定は変更できません。
- メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の (LAN) 端子を、IP アドレス 10.0.0.0 ~ 10.0.0.7 を含むネットワークに接続できません。IP アドレス 10.0.0.0 ~ 10.0.0.7 を含むサブネットワークの設定は行わないでください。
- 設定を有効にするためには、システムの再起動が必要です。いったん電源を (OFF) にして、再度電源を (ON) にしてください。

- ・メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子に、コントロールパネルやコンピューターを接続しない場合は、メニューでの設定は必要ありません。
- ・接続する機器の設定を、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈LAN〉端子の初期設定に合わせてご使用になる場合は、メニューでの設定は必要ありません。

信号フォーマットの設定

システムのフォーマットを選択します。

1 〈SYS〉 ボタン → [SYSTEM] → [Video] タブを選択する

2 [Video Format] コラムの [Video Format] を設定する

- ・[1080/59.94i]、[1080/50i]、[1080/24PsF]、[1080/23.98PsF]、[720/59.94p]、[720/50p]、[480/59.94i]、[576/50i]、[1080/29.97PsF]、[1080/25PsF] から選択します。
- ・スイッチャーモードが 3G モードのときは、[1080/59.94p]、[1080/50p]、4K モードのときは、[2160/59.94p]、[2160/50p] を選択できます。3G モードや 4K モードについて、詳しくは、取扱ガイド (PDF) の「各モードの機能の違い」を参照してください。

同期信号の設定

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈REF〉端子に供給する外部同期信号と出力位相を設定します。

1 〈SYS〉 ボタン → [SYSTEM] → [Video] タブを選択する

2 [Output Phase] コラムで出力位相を設定する

3 [Reference] コラムの [Sync] で同期信号を選択する

- ・[BB]、[BB Advanced]、[Tri-level sync]、[Internal] から選択します。

入力信号の設定

入力信号の各種設定

SDI 入力信号、DVI 入力信号の各種設定を行います。

- ・詳しくは取扱ガイド (PDF) の「入力信号の設定」を参照してください。

1 〈IN OUT〉 ボタン → [SDI IN] → [Frame Buffer] / [Status] / [Up Converter] タブで次の設定を行う

[Frame Buffer] タブ	モード、フレームシンクロナイザー、フリーズ効果、フレーム遅延の設定を行います。
[Status] タブ	SDI 入力信号の映像に関する情報を表示します。
[Up Converter] タブ	[SDI IN 27] / [SDI IN 28] / [SDI IN 31] / [SDI IN 32] コラムで内蔵されているアップコンバーターの設定を行います。

2 〈IN OUT〉 ボタン → [DVI IN] → [Frame Buffer] / [Status] タブで次の設定を行う

[Frame Buffer] タブ	DVI-D 入力信号の設定を行います。
[Status] タブ	DVI-D 入力信号の映像に関する情報を表示します。

3 〈IN OUT〉 ボタン → [C/C IN 25-30]、[C/C IN 31-32] → [SDI IN 25] ~ [SDI IN 32] タブでカラーコレクターの設定を行う

- ・〈SDI IN 25〉 ~ 〈SDI IN 32〉端子に内蔵されているカラーコレクターの設定を行います。

映像素材の名称設定

コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の素材名表示パネルや、マルチビューディスプレイに表示される素材名などを設定します。

- ・詳しくは取扱ガイド (PDF) の「素材名の設定」を参照してください。

1 〈CONF〉 ボタン → [SOURCE NAME] → [Panel Name] / [MV Name] タブで素材名などを設定する

映像素材のリンク設定

キーとして扱う素材のキーフィルおよびキーソースのリンクを設定します。KEY バスクロスポイントボタンでキーフィル (キーソース) を選択すると、リンクされたキーソース (キーフィル) が自動で選択されます。キーフィルとキーソースのどちらをマスターにするかは、メニューで選択できます。同じ設定を、AUX バスの連動設定に使用できます。

- ・詳しくは取扱ガイド (PDF) の「キー素材の選択」を参照してください。

1 〈CONF〉 ボタン → [SOURCE LINK] → [Key Assign] タブを選択する

2 左列のマスター一覧の項目に、右列のスレーブ一覧の項目を割り当てる

- ・キーフィルとキーソースのリンク設定は、以上で終了です。
- ・AUX バスの連動設定でリンク設定の有効 / 無効を設定する場合は、手順 3 に進みます。

3 [AUX Bus Link] タブを選択する

4 [Link 1] / [Link 2] コラムの [AUX1/2 Link] ~ [AUX15/16 Link] で項目を選択する

各種設定

[On]	リンク設定を有効にします。
[Off]	リンク設定を無効にします。

ボタンの設定

ボタンに映像素材を割り当てる

クロスポイント部のクロスポイントボタン（PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタン、KEY バスクロスポイントボタン）に、外部映像入力信号および、内部発生信号をアサインできます。

- 詳しくは取扱いガイド（PDF）の「ボタンのアサイン設定」を参照してください。

1 〈CONF〉 ボタン → [XPT ASSIGN] → [MainPanel] / [SubPanel1] / [SubPanel2] タブで次の設定を行う

[MainPanel] タブ	メインコントロールパネルのアサインを行います。
[SubPanel1] タブ	サブコントロールパネル 1（2 台目のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4）のアサインを行います。
[SubPanel2] タブ	サブコントロールパネル 2（3 台目のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4）のアサインを行います。

ボタン/ブロックを操作無効に設定する

ボタンやブロックごとに、操作を無効に設定できます。

- 詳しくは取扱いガイド（PDF）の「ボタンの操作無効設定」を参照してください。

1 〈CONF〉 ボタン → [BUTTON INHIBIT] → [MainPanel] / [SubPanel1] / [SubPanel2] タブで次の設定を行う

[MainPanel] タブ	メインコントロールパネルのアサインを行います。
[SubPanel1] タブ	サブコントロールパネル 1（2 台目のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4）のアサインを行います。
[SubPanel2] タブ	サブコントロールパネル 2（3 台目のコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4）のアサインを行います。

ボタンの色を設定する

ボタンカラーの設定について、詳しくは取扱いガイド（PDF）の「ボタンカラーの設定」を参照してください。

出力信号の設定

SDI 出力信号の各種設定を行います。

- 詳しくは取扱いガイド（PDF）の「出力信号の設定」を参照してください。

1 〈IN OUT〉 ボタン → [SDI OUT] → [Assign] / [Down Converter] タブで次の設定を行う

[Assign] タブ	出力マトリクスの割り当てを行います。
[Down Converter] タブ	〈SDI OUT 14〉 / 〈SDI OUT 16〉 端子に内蔵されているダウンコンバーターの設定を行います。

2 〈IN OUT〉 ボタン → [C/C OUT] → [SDI OUT 13] ~ [SDI OUT 16] タブでカラーコレクターの設定を行う

- 〈SDI OUT 13〉 ~ 〈SDI OUT 16〉 端子に内蔵されているカラーコレクターの設定を行います。
- ME1CLN、ME2CLN など ME/DSK ブロックからの出力の詳細設定について、詳しくは取扱いガイド（PDF）の「ME 出力、DSK 出力の設定」を参照してください。

マルチビューディスプレイの設定

出力信号に MV1 ~ MV4 を設定すると、最大 16 分割の画面に複数の映像を同時に表示できます。

- 詳しくは取扱いガイド（PDF）の「マルチビューディスプレイの設定」を参照してください。

1 〈MV〉 ボタン → [MV1-4] → [MV1] ~ [MV4] タブを選択する

2 [Pattern] コラムでマルチビューディスプレイの分割パターンを設定する

- [Assign] を選択すると、子画面に表示する素材設定画面が表示されます。

3 [MV Frame] / [Tally Box] / [Tally Label L] / [Tally Label R] / [Display] コラムで子画面に表示する情報を設定する

タリーの設定

基準出力の設定

タリーグループの設定について、詳しくは取扱いガイド（PDF）の「タリーの設定」を参照してください。

1 〈SYS〉 ボタン → [PERIPHERAL] → [Tally] タブを選択する

2 [Tally Group1-1 (On-Air)] コラムの [Target A]、[+Target B]、[+Target C]、[+Target D]、[Tally Group1-2 (On-Air)] コラムの [+Target E]、[+Target F]、[+Target G]、[+Target H] で項目を選択する

- オンエアータリーに使用する基準出力を 8 つまで選択します。

3 [Tally Group2-1] ~ [Tally Group4-1] コラムの [Target A]、[+Target B]、[+Target C]、[+Target D]、[Tally Group2-2] ~ [Tally Group4-2] コラムの [+Target E]、[+Target F]、[+Target G]、[+Target H] で項目を選択する

- [Tally Group1-1 (On-Air)] / [Tally Group1-2 (On-Air)] とは別の 3 つのタリーグループを設定できます。[Color] を選択すると、マルチビューディスプレイのタリーに使用する色も設定できます。

パラレルタリーの設定

1 <SYS> ボタン → [PERIPHERAL] → [GPI IN] / [GPI OUT] タブで次の設定を行う

[GPI IN] タブ	Tally G1 DSBL ~ Tally G4 DSBL を割り当てると外部からタリーグループごとに有効 / 無効を制御できます。
[GPI OUT] タブ	タリーグループごとに素材タリー出力を割り当てできます。

日付と時刻の設定

メモリーカードやストレージモジュール AV-HS60D1（別売品）へのファイル保存時に、タイムスタンプとして使用する日付と時刻を設定します。マルチビューディスプレイの分割画面にも表示できます。

1 <SYS> ボタン → [MAINTENANCE] → [Misc] タブを選択する

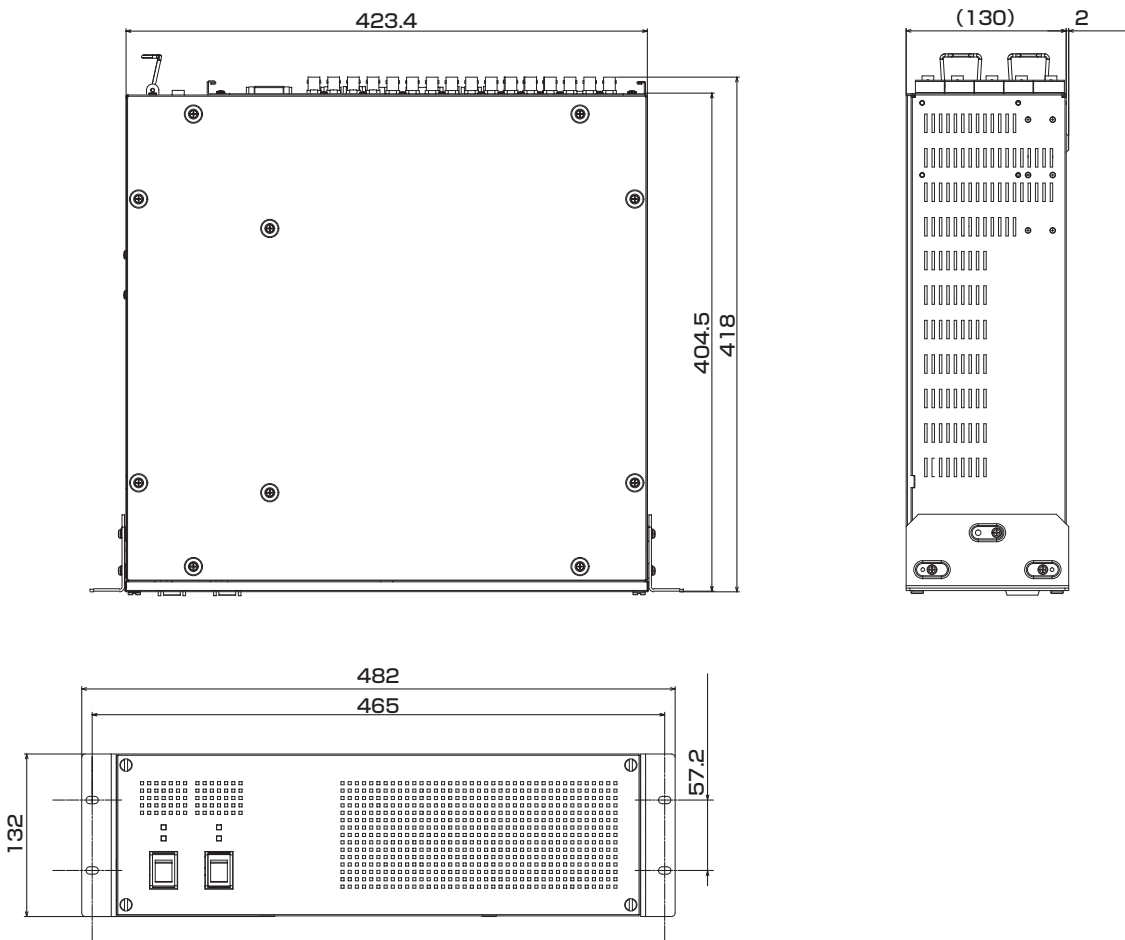
2 [Date] / [Time] / [LTC] コラムで日付と時刻を設定する

[Date] コラム	[Year]、[Month]、[Date] で年 / 月 / 日を設定します。
[Time] コラム	[Hour]、[Minute]、[Second] で時 / 分 / 秒を設定します。
[LTC] コラム	<LTC IN> 端子に入力された情報を表示し、[Time] コラムに反映できます。

外形寸法図

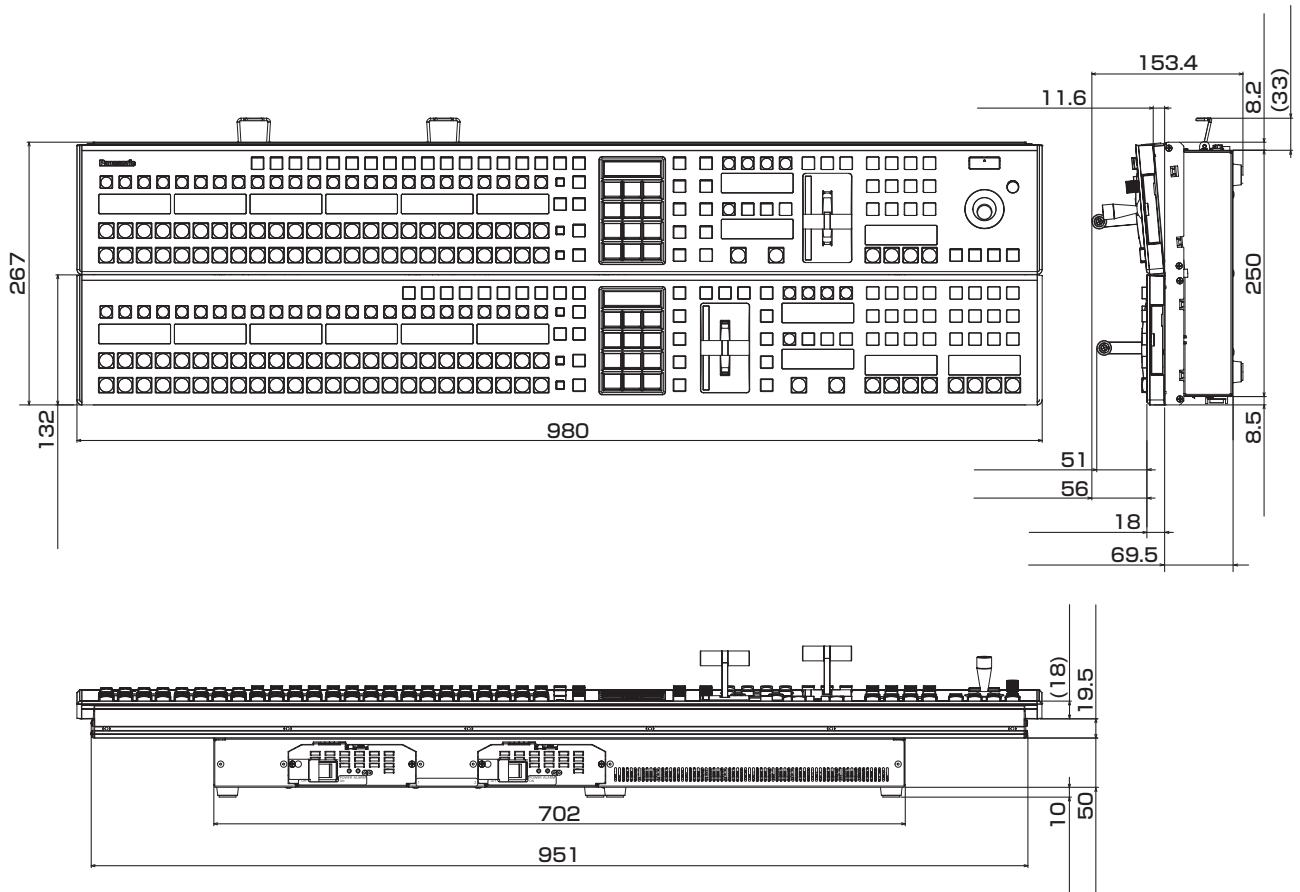
メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の外形寸法図

単位：mm



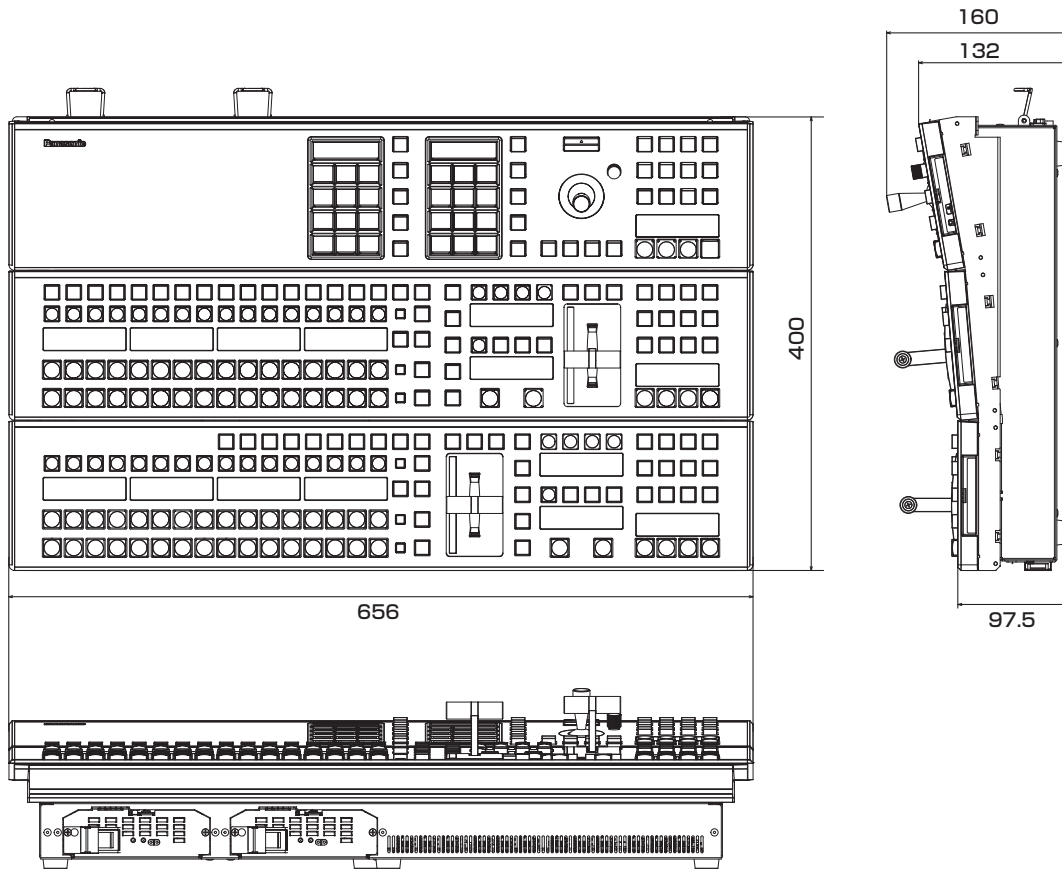
コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2 の外形寸法図

単位：mm



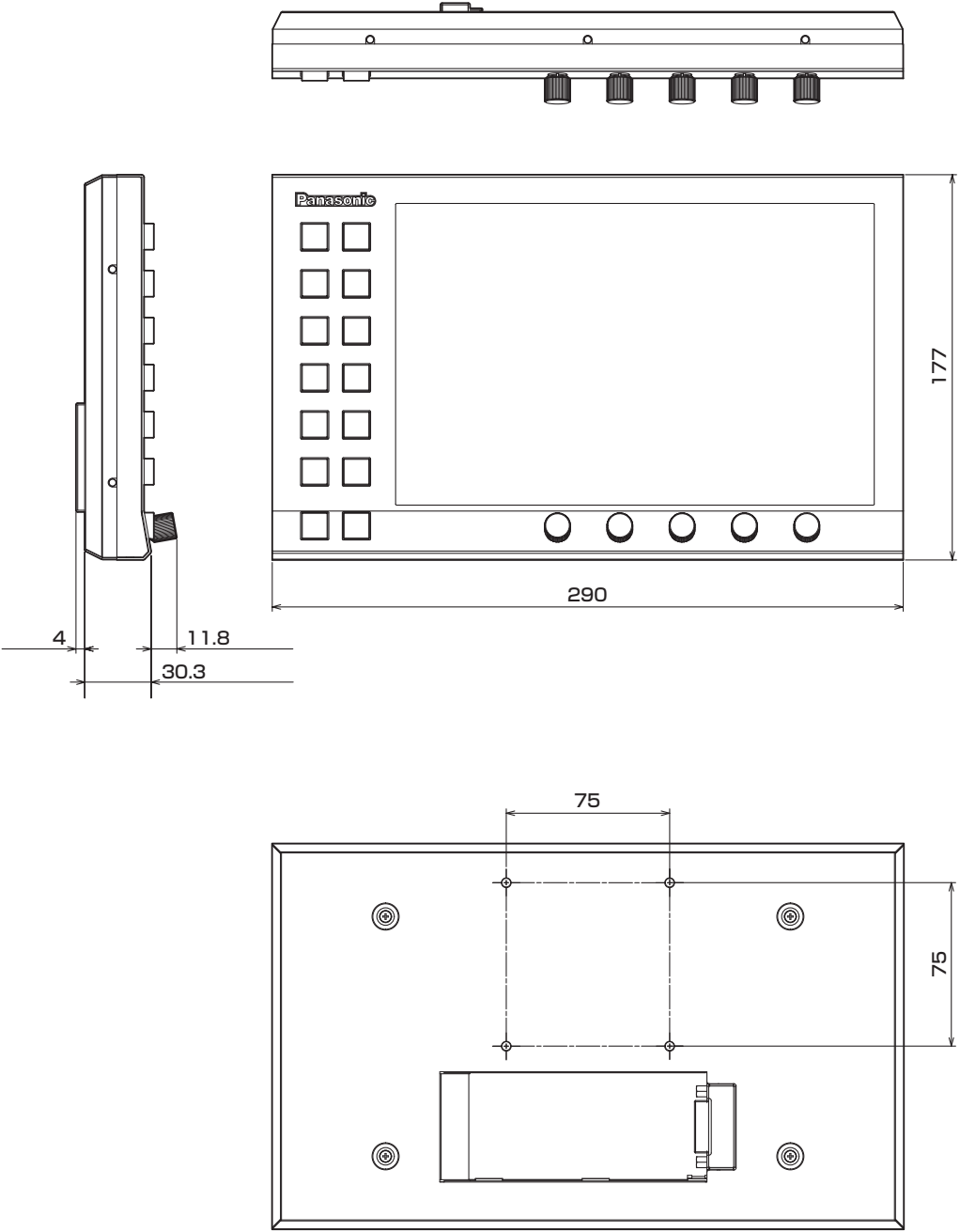
コントロールパネル AV-HS60C4 の外形寸法図

単位：mm



メニューパネル AV-HS60C3 の外形寸法図

単位：mm



定格

メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2

電源
AC～100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz
消費電力
110 W

AV-HS60U2 はリダンダント電源対応

は安全項目です。

映像系端子

〈SDI IN 1〉～〈SDI IN 32〉端子	Standard モード時	
	32 系統	
	<ul style="list-style-type: none"> コネクター：BNC×32 〈SDI IN 27〉、〈SDI IN 28〉、〈SDI IN 31〉、〈SDI IN 32〉端子は、アップコンバーターを搭載しています。 〈SDI IN 25〉～〈SDI IN 32〉端子は、カラーコレクターを搭載しています。 	
	HD-SDI	HD シリアルデジタル、SMPTE292M (BTA S-004) 準拠 <ul style="list-style-type: none"> 0.8 V [p-p] ± 10% (75 Ω) 自動イコライザー 100 m (1.5 Gbps/5C-FB ケーブル使用時)
	SD-SDI	SD シリアルデジタル、SMPTE259M 準拠 <ul style="list-style-type: none"> 0.8 V [p-p] ± 10% (75 Ω) 自動イコライザー 200 m (5C-2V ケーブル使用時)
〈DVI-D IN1〉 / 〈DVI-D IN2〉端子	3G モード時	
	16 系統	
	<ul style="list-style-type: none"> コネクター：BNC×16 (奇数番号の端子のみ使用可能) 偶数番号の端子 〈SDI IN 2〉、〈SDI IN 4〉… 〈SDI IN 32〉 は使用できません。 〈SDI IN 25〉、〈SDI IN 27〉、〈SDI IN 29〉、〈SDI IN 31〉端子は、カラーコレクターを搭載しています。 	
	4K モード時	
	4K 信号 ×8 系統 コネクター：BNC×32 (4 つの端子で 1 系統の 4K 信号を構成) SQD 形式、2SI 形式の 4K 信号を使用可能	
	3G-SDI	3G シリアルデジタル、SMPTE424M 準拠 <ul style="list-style-type: none"> 0.8 V [p-p] ± 10% (75 Ω) 自動イコライザー 100 m (3 Gbps/5C-FB ケーブル使用時) 3G-SDI Level A、3G-SDI Level B
	2 系統	
	デジタル RGB：XGA (1024×768)、WXGA (1280×768)、SXGA (1280×1024)、WSXGA+ (1680×1050)、UXGA (1600×1200)、WUXGA (1920×1200)	
	垂直周波数：60 Hz	
	映像フォーマット入力：1080/50p、1080/59.94p、1080/50i、1080/59.94i、720/50p、720/59.94p	
	<ul style="list-style-type: none"> コネクター：DVI-D×2 HDCP には対応していません。 DVI-I コネクターケーブルは使用できません。 DVI-D コネクターケーブルは、5 m までの長さのケーブルを使用してください。 3G モード、4K モード時は、〈DVI-D IN1〉 / 〈DVI-D IN2〉端子を使用できません。 	

<SDI OUT 1> ~ <SDI OUT 16> 端子	Standard モード時 16 系統 (各 2 分配出力) ●コネクター : BNC×32 ●ME1PGM、ME1PVW、ME1CLN、ME1KEYPVW、ME2PGM、ME2PVW、ME2CLN、ME2KEYPVW、DSKPGM1、DSKPGM2、DSKPVW1、DSKPVW2、DSK1CLN、DSK2CLN、DSK3CLN、DSK4CLN、SEL KEYPVW、MV1 ~ MV4、AUX1 ~ AUX16 を割り当てできます。	
	HD-SDI	HD シリアルデジタル、SMPTE292M (BTA S-004) 準拠 ●出力レベル : 0.8 V [p-p] ± 10% ●立ち上がり時間 : 270 ps 未満 (HD) ●立ち下がり時間 : 270 ps 未満 (HD) ●立ち上がり時間と立ち下がり時間の差 : 100 ps 以下 (HD) ●アライメントジッター : 0.2 UI (130 ps) 以下 (HD) ●タイミングジッター : 1.0 UI 以下 (HD) ●アイ開口率 : 90% 以上 ●DC オフセット : 0 ± 0.5 V
	SD-SDI	SD シリアルデジタル、SMPTE259M 準拠 ●出力レベル : 0.8 V [p-p] ± 10% ●立ち上がり時間 : 1.5 ns 以下 ●立ち下がり時間 : 1.5 ns 以下 ●立ち上がり時間と立ち下がり時間の差 : 0.5 ns 以下 ●ジッター : 0.2 UI 以下
3G モード時 3G-SDI 出力 : 8 系統 (各 2 分配出力) HD-SDI 出力 : 2 系統 (各 2 分配出力) ●コネクター 3G-SDI : BNC×16 (奇数番号の端子のみ) HD-SDI : BNC×4 (<SDI OUT 14>、<SDI OUT 16> 端子のみ) ●偶数番号の端子からは、3G-SDI 信号は出力されません。 - <SDI OUT 2>、<SDI OUT 4> … <SDI OUT 12> 端子からの信号は無信号になります。 - <SDI OUT 14>、<SDI OUT 16> 端子からは、1080i フォーマットに変換した HD-SDI 信号が出力されます。この信号は、それぞれ <SDI OUT 13>、<SDI OUT 15> 端子から出力される 1080p フォーマットの信号からラインを間引いて 1080i フォーマットに変換しています。 ●<SDI OUT 13>、<SDI OUT 15> 端子にはカラーコレクターを搭載しています。カラーコレクター設定は、それぞれ <SDI OUT 14>、<SDI OUT 16> 端子にも同じ設定が適用されます。 ●ME1PGM、ME1PVW、ME1CLN、ME1KEYPVW、ME2PGM、ME2PVW、ME2CLN、DSKPGM1、DSKPGM2、DSKPVW1、DSKPVW2、DSK1CLN、DSK2CLN、SEL KEYPVW、MV1 ~ MV2、AUX1 ~ AUX8 を割り当てできます。		
4K モード時 4K 信号出力 : 3 系統 (各 2 分配出力) 2K 信号出力 : 2 系統 (各 2 分配出力) ●コネクター 3G-SDI (4K 信号用) : BNC×24 (端子番号 1 ~ 12) 3G-SDI (2K 信号用) : BNC×4 (端子番号 13、15) HD-SDI (2K 信号用) : BNC×4 (端子番号 14、16) ●4K 信号は、SQD 形式で出力されます。 ●<SDI OUT 14>、<SDI OUT 16> 端子からは、1080i フォーマットに変換した HD-SDI 信号が出力されます。この信号は、それぞれ <SDI OUT 13>、<SDI OUT 15> 端子から出力される 1080p フォーマットの信号からラインを間引いて 1080i フォーマットに変換しています。 ●ME1PGM、ME1PVW、ME1CLN、ME1KEYPVW、ME2PGM、ME2PVW、ME2CLN、DSKPGM1、DSKPGM2、DSKPVW1、DSKPVW2、DSK1CLN、DSK2CLN、SEL KEYPVW、MV1 ~ MV2、AUX1 ~ AUX8 を割り当てできます。		
		3G-SDI 3G シリアルデジタル、SMPTE424M 準拠 ●出力レベル : 0.8 V [p-p] ± 10% ●立ち上がり時間 : 135 ps 以下 ●立ち下がり時間 : 135 ps 以下 ●立ち上がり時間と立ち下がり時間の差 : 50 ps 以下 ●アライメントジッター : 0.3 UI 以下 ●タイミングジッター : 2.0 UI 以下 ●DC オフセット : 0 ± 0.5 V ●3G-SDI Level B
信号フォーマット	SD	480/59.94i、576/50i
	HD	1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p、1080/29.97PsF、1080/25PsF、1080/24PsF、1080/23.98PsF
	3G	1080/59.94p、1080/50p
	4K	2160/59.94p、2160/50p
信号処理	Y : P _B : P _R	4 : 2 : 2 10 bit
	R : G : B	4 : 4 : 4 8 bit
ME 数	2ME	

同期系端子

〈REF〉端子	Genlock モード：ブラックバーストまたは Tri-level Sync 入力信号（ループスルー付） <ul style="list-style-type: none"> ループスルー出力を使用しない場合は、75 Ω で終端してください。 内部同期モード：ブラックバースト出力信号 ×2 <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：BNC システムフォーマットと同じフィールド周波数に対応 1080/24PsF フォーマットおよび 1080/23.98PsF フォーマット時は、Genlock モードのみに対応 1080/23.98PsF フォーマット時は、10 Field ID 付きブラックバースト信号（SMPTE318M 準拠）または Tri-level Sync 信号に対応 	
〈LTC IN〉端子	LTC（リニアタイムコード）入力端子です。 <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：BNC インピーダンス：1 kΩ レベル：1～2 V [p-p] 	
映像遅延時間	Standard モード時	
	1 ライン（H）	フレームシンクロナイザーの設定が [Off] で、アップコンバーターの設定が [Off] のとき
	1 フレーム（F）	フレームシンクロナイザーの設定がオン、またはアップコンバーターの設定が [On] のとき
	<ul style="list-style-type: none"> PinP、DVE、マルチビュー、ダウンコンバーター、DVI-IN を経由した場合、それぞれ最大 1 フレームの遅延が加わります。 	
	3G モード時	
	2 ライン（H）	フレームシンクロナイザーの設定が [Off] のとき
	2 フレーム（F）	フレームシンクロナイザーの設定が [On] のとき
	<ul style="list-style-type: none"> PinP、DVE、マルチビューを經由した場合、それぞれ最大 2 フレームの遅延が加わります。 	
	4K モード時	
	1 フレーム（F）	フレームシンクロナイザーは常時オンとなります。
<ul style="list-style-type: none"> PinP、DVE、マルチビューを經由した場合、それぞれ最大 2 フレームの遅延が加わります。 その他、付加される遅延について詳しくは、取扱ガイド（PDF）の「3G モード / 4K モード」を参照してください。 		

制御系端子

〈LAN〉端子	100Base-TX、AUTO-MDIX 対応（IP 制御用） <ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブル：LAN ケーブル（CAT5E）、最大 100 m、STP（Shielded Twisted Pair）ケーブルを推奨 コネクタ：RJ-45
〈PANEL〉端子	100Base-TX、AUTO-MDIX 対応（コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 接続用） <ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブル（AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 付属）：LAN ケーブル（CAT5E）、ストレートケーブル、STP（Shielded Twisted Pair）、10 m コネクタ：RJ-45
〈COM1（M）〉 / 〈COM2（M）〉 / 〈COM3（M）〉端子	RS-422 制御端子 外部機器制御のマスター接続用 <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：D-sub 9 ピン（メス）×3、インチねじ
〈COM4（M/S）〉端子	RS-422 制御端子 外部機器制御のマスター接続用 / スレーブ接続用 <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：D-sub 9 ピン（メス）、インチねじ メニューでマスター接続 / スレーブ接続切り替え可能
〈GPI IN〉端子	GPI IN：18 入力、汎用、フォトカプラー受け ALARM OUT：1 出力、オープンコレクター出力（負論理） <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：D-sub 25 ピン（メス）、インチねじ
〈GPI OUT1〉 / 〈GPI OUT2〉端子	GPI OUT：48 出力、汎用から選択、タリー オープンコレクター出力 <ul style="list-style-type: none"> コネクタ：D-sub 25 ピン（メス）×2、インチねじ

 NOTE

・本機と接続する機器は、同一セグメントでの運用を推奨します。セグメントが異なる機器との接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が発生する可能性があります。運用開始前に本機と接続対象機器との接続確認を十分に行ってください。

その他

動作温度	0 °C～40 °C
湿度	10%～90%（結露なきこと）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	482 mm×132 mm×418 mm（突起部含まず） 3RU
質量	AV-HS60U1：約 12.6 kg（付属品を除く） AV-HS60U2：約 13.5 kg（付属品を除く）

コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2

電源
AC～100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力
40 W

AV-HS60C2 はリダンダント電源対応

は安全項目です。

制御系端子

〈MAIN FRAME〉端子	100Base-TX、AUTO-MDIX 対応（メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 接続用） <ul style="list-style-type: none"> ● 接続ケーブル（AV-HS60C1/AV-HS60C2 付属）LAN ケーブル（CAT5E）、ストレートケーブル、STP（Shielded Twisted Pair）、10 m ● コネクター：RJ-45 * 〈LAN〉端子に接続した場合、メニューパネル AV-HS60C3 にビデオ表示は行えません。
〈MENU PANEL〉端子	メニューパネル AV-HS60C3 専用 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：DVI-D ● 独自信号フォーマットのため、DVI-D モニターでは表示できません。 ● 〈DVI-D〉端子に接続する DVI-D モニター（コンピューター）との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈DVI-D〉端子	DVI モニター（コンピューター）へのメニュー表示用端子 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：DVI-D ● モニター解像度：1366×768 対応のモニター ● 〈MENU PANEL〉端子との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈USB〉端子	DVI モニター（コンピューター）上のメニュー操作作用 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：USB（タイプ A、メス） ● メニューパネル AV-HS60C3 には使用できません。
ディスプレイ切り替えスイッチ	〈MENU PANEL〉端子または〈DVI-D〉端子の切り替えスイッチ
〈COM1（M）〉端子	RS-422 制御端子 外部機器制御のマスター接続用 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：D-sub 9 ピン（メス）、インチねじ
〈COM2（RS-232）〉端子	RS-232 制御端子 外部機器制御の接続用 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：D-sub 9 ピン（オス）、インチねじ
〈GPI I/O〉端子	GPI IN：8 入力、汎用、フォトカプラー受け ALARM OUT：1 出力、オープンコレクター出力（負論理） GPI OUT：10 出力、汎用から選択、タリ オープンコレクター出力 <ul style="list-style-type: none"> ● コネクター：D-sub 25 ピン（メス）、インチねじ ● 論理はメニューで切り替え可能
ME 数	2ME

その他

動作温度	0 °C～40 °C
湿度	10%～90%（結露なきこと）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	980 mm×153.4 mm×267 mm（突起部含まず）
質量	AV-HS60C1：約 13.0 kg（付属品を除く） AV-HS60C2：約 13.9 kg（付属品を除く）

コントロールパネル AV-HS60C4

電源
AC～100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力
40 W

リダンダント電源対応

は安全項目です。

制御系端子

〈MAIN FRAME〉端子	100Base-TX、AUTO-MDIX 対応（メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 接続用） <ul style="list-style-type: none"> 接続ケーブル（AV-HS60C4 付属）LAN ケーブル（CAT5E）、ストレートケーブル、STP（Shielded Twisted Pair）、10 m コネクター：RJ-45 * 〈LAN〉端子に接続した場合、メニューパネル AV-HS60C3 にビデオ表示は行えません。
〈MENU PANEL〉端子	メニューパネル AV-HS60C3 専用 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：DVI-D 独自信号フォーマットのため、DVI-D モニターでは表示できません。 〈DVI-D〉端子に接続する DVI-D モニター（コンピューター）との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈DVI-D〉端子	DVI モニター（コンピューター）へのメニュー表示用端子 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：DVI-D モニター解像度：1366×768 対応のモニター 〈MENU PANEL〉端子との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈USB〉端子	DVI モニター（コンピューター）上のメニュー操作用 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：USB（タイプ A、メス） メニューパネル AV-HS60C3 には使用できません。
ディスプレイ切り替えスイッチ	〈MENU PANEL〉端子または〈DVI-D〉端子の切り替えスイッチ
〈COM1（M）〉端子	RS-422 制御端子 外部機器制御のマスター接続用 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：D-sub 9 ピン（メス）、インチねじ
〈COM2（RS-232）〉端子	RS-232 制御端子 外部機器制御の接続用 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：D-sub 9 ピン（オス）、インチねじ
〈GPI I/O〉端子	GPI IN：8 入力、汎用、フォトカプラー受け ALARM OUT：1 出力、オープンコレクター出力（負論理） GPI OUT：10 出力、汎用から選択、タリール オープンコレクター出力 <ul style="list-style-type: none"> コネクター：D-sub 25 ピン（メス）、インチねじ 論理はメニューで切り替え可能
ME 数	2ME

その他

動作温度	0 °C～40 °C
湿度	10%～90%（結露なきこと）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	656 mm×160 mm×400 mm（突起部含まず）
質量	約 15.0 kg（付属品を除く）

メニューパネル AV-HS60C3

電源

DC=12 V/0.54 A

* 添付のケーブルで AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 から供給

消費電力

6.48 W

は安全項目です。

〈CONTROL PANEL〉 端子	コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 専用 ●コネクター：DVI-D ●独自信号フォーマットのため、DVI-D ソースの表示はできません。 ●コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 の 〈DVI-D〉 端子に接続する DVI-D モニターとは併用できません。コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 のディスプレイ切り替えスイッチを 〈MENU PANEL〉 端子側に選択します。
動作温度	0 °C ~ 40 °C
湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	290 mm × 177 mm × 46.1 mm (突起部含まず) 4RU
質量	AV-HS60C3 : 約 1.7 kg (付属品を除く)

ストレージモジュール

NAND Flash Drive

容量	128 GB
形状	mSATA JEDEC MO-300
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	29.85 mm × 4.0 mm × 50.8 mm
質量	約 7.0 g

- NAND Flash Drive は、デバイスの特性上、データの破損、書き換え制限があります。大切なデータは、コンピューターなどに保存されることをお勧めします。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2014